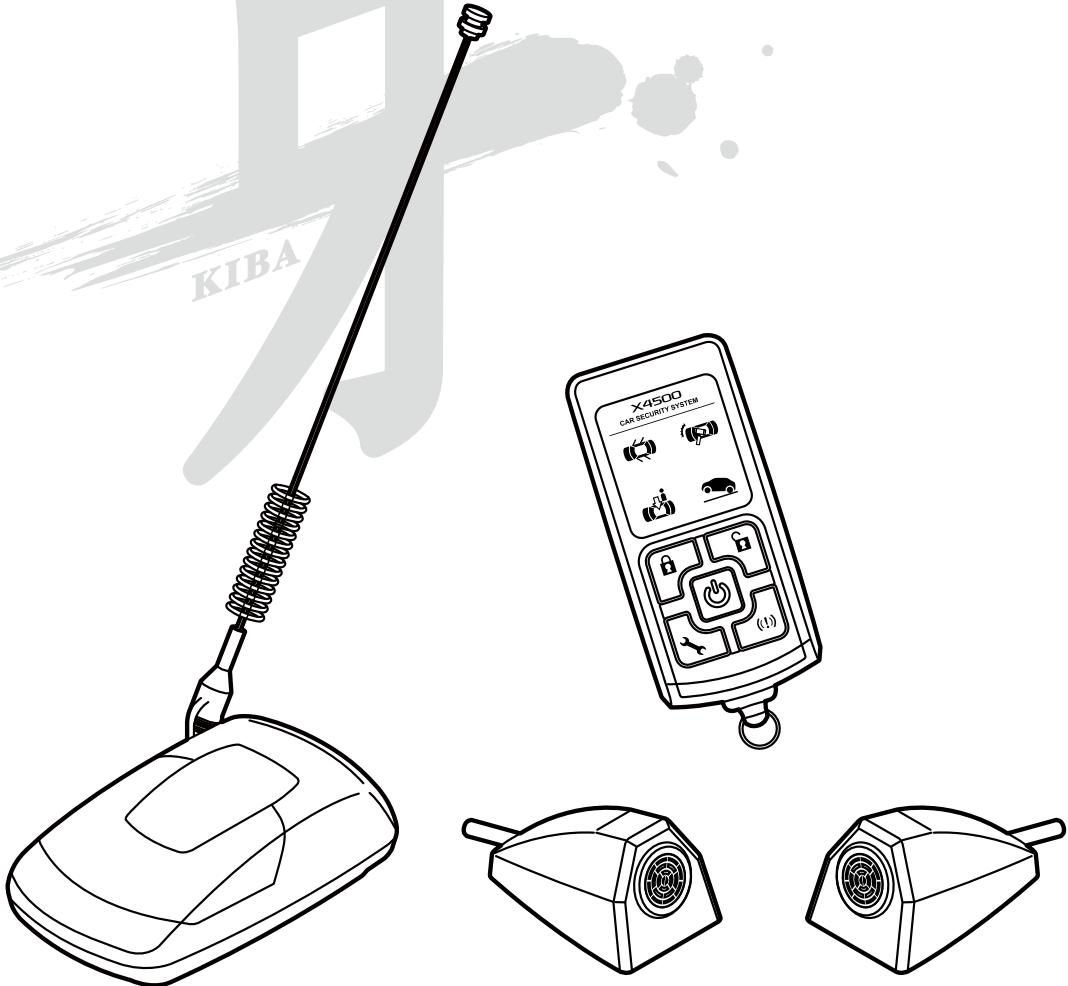


X4500

純正キーレス連動&  
リモコンアンサーバックモデル

盗難発生警報装置  
<国産 12V 車専用>

# 取扱説明書



保 管 用

保証書添付

この度は、X4500をお買い上げいただきありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ正しくお使いください。  
この取扱説明書は必ず保管してください。

本製品は車両への衝撃やガラス破壊、ドア開、車内侵入などの異常を感じし警報を行う装置です。  
車両盗難、部品盗難、車両へのいたずらなどから完全に防止できるものではありません。なお、本製品  
の動作の有無にかかわらず発生したいたずらなどによる損害に対しての当社補償は一切ありません。  
また、誤った取り付けや使用による事故、破損などの責任は負いかねますのでご了承ください。

※本製品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

P-Ver. 1 725080

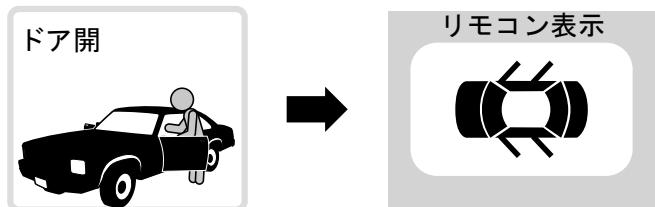
# 目次

目次	2
X4500 センサの特長	3
ドアオープン（カーテシ）センサ	3
超音波センサ	3
衝撃・傾斜センサ	4
安全にお使いいただくために	5
安全上のご注意	5
使用上のご注意	6
同梱品一覧	8
各部名称とはたらき	9
車載機	9
アンテナユニット	9
サイレン	10
超音波センサ	10
リモコン	11
ご使用の前に	12
リモコンの電池を交換する	12
通信範囲	13
車両純正キーレスリモコン、スマートキー、 インテリジェントキーをご使用の場合	14
基本操作	15
リモコンの電源を入れる	15
リモコンの電源を切る	15
警戒モードを設定する	16
警戒モードを解除する	17
車両純正キーレスリモコンで設定／解除する	17
検知・警報動作とリモコン表示	18
異常通知／警報動作を停止する	19
応用操作	20
最終重度警報履歴表示機能	20
単発警報サイレン音発生機能	21
緊急 SOS 機能（サイレン警報連続作動）	21
リモコン電池の低下通知	22
緊急時のサイレン停止方法	22
警戒ランプ点滅パターン切り替え機能	23
リモコン登録機能	24
ヒューズの交換方法	26
付録	27
オプションについて	27
仕様	27
故障かな？と思ったら	29
保証書	裏面

# X4500 センサの特長

## ドアオープン（カーテシ）センサ

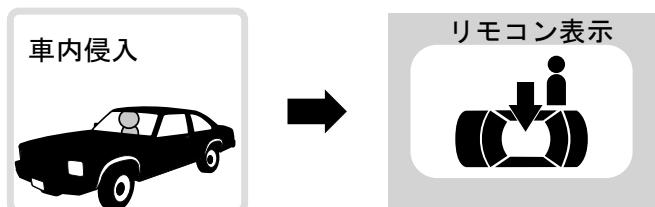
車両のドアが開いたことを確認するスイッチが車両についていて、これをカーテシスイッチ（メーカーによって呼び名が違う場合があります）と言い、このスイッチに配線することにより車両のドアが開いたことを確認し、警報を行います。



## 超音波センサ

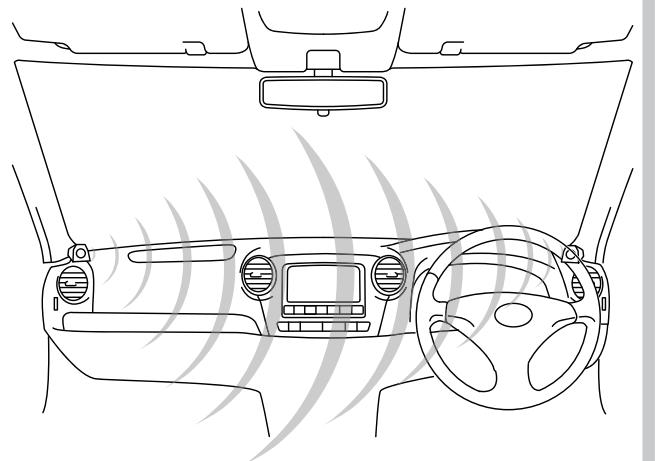
超音波を利用して人体や物体の動きを検知するセンサです。

上下左右に約 80 度の感知角度で車内への不審者の侵入をキャッチします。



## アドバイス

- ・超音波センサは車両シートやヘッドレスト等の遮へい物があると反射するため、後部座席やトランクルームは検知できない車種がありますのでご注意ください。
- ・車両周辺のうろつきには反応しません。



# X4500 センサの特長

## 衝撃・傾斜センサ

車両の衝撃および傾きを検知するセンサです。3軸性のデジタルセンサにより、車幅(X)方向、車長(Y)方向、車高(Z)方向の3方向に対応しています。

強い衝撃で車両が揺れたり、ジャッキアップされるなど車両が傾斜した場合に反応します。

ガラス破壊・衝撃



リモコン表示



車体傾斜



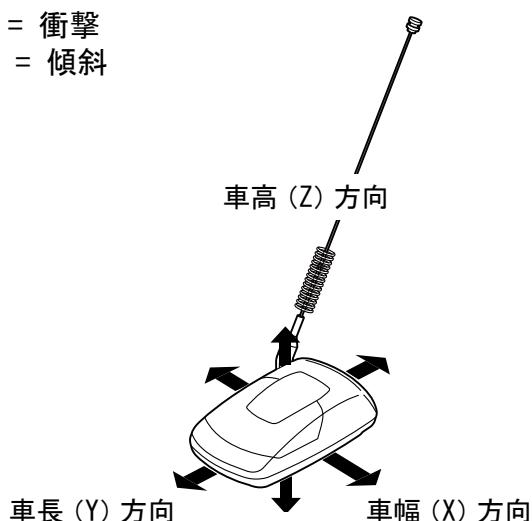
リモコン表示



## アドバイス

Z = 衝撃

XY = 傾斜



※アンテナユニットは正しい向きで設置してください。

- ・油圧ジャッキでは反応しない場合があります。すべてのジャッキアップに反応するわけではありませんので、ご注意ください。

# 安全にお使いいただくために

ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので必ず守ってください。



## 警 告

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



## 注 意

この表示を無視して誤った取扱いを行うと、人が傷害を負ったり、物的損害（※）の発生が想定される内容です。

※物的損害とは家屋、家財及び家畜、ペットにかかる拡大損害を示します。



## アドバイス

本製品に関する補足情報を説明します。



で示した記号は、してはいけない行為【禁止行為】であることを告げるものです。



で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。

## ◇ 「道路運送車両の保安基準」（保安基準）について

国土交通省では、2003（平成15）年7月7日に道路運送車両の保安基準を改訂し、2006年7月1日以降登録の普通乗用車、2008年7月1日以降登録の軽自動車に盜難発生警報装置を装着した場合は、新保安基準に適合することが必要となりました。

●本製品は保安基準に対応（全国自動車用品工業会自主基準登録商品）ですが下記のことを守らないと車検を通過しないまたは整備不良車になる恐れがあります。

- ・商品の取付けは必ず取付要領書通りに行ってください。もし取付要領書通りでない不適切な取付けを行った場合には車検に通過しない可能性があるだけでなく、整備不良車とされる恐れがあります。
- ・登録証（技術基準適合の証明書）は車検時の審査の参考資料として利用されます。あるいは提出を求められる可能性がありますので車検証に添付することをお勧めします。
- ・取付けした車載機、配線類は車内外から見えないように取付配線を必ず行ってください。
- ・保安基準についてのご質問、お問い合わせは国土交通省に直接お問い合わせください。

## 安全上のご注意



## 警 告

!  
● 取付けの際は必ずエンジンを停止した状態で行ってください。

!  
● 本製品は落下のないよう確実に取付けてあるか確認してください。落下物によりけがをする危険性があります。また落下物が運転の障害となり事故を起こす危険性があります。

!  
● 本製品の取付けは、運転や視界の妨げにならない場所、また車両の機能（ブレーキ・ハンドル・アクセル・シートベルト・エアーバックなど）の妨げのならない場所に取付けてあるか確認してください。

!  
● リモコン及びリモコン電池、梱包のポリ袋やフィルム類は、幼児の手の届かない場所に保管してください。小さいお子さまが、呑みこんだり、かぶったりすると呼吸を妨げる危険があります。

!  
● 破損や有害物でのる恐れがあるので、専用の電池を火の中に投入しないでください。

!  
● 強い衝撃を与えたる、投げつけたりしないでください。発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

!  
● 絶対に改造・分解・修理しないでください。発火や感電・けがの恐れがあります。また、電波法により処罰の対象となります。

!  
● 運転中の取外し及び操作は行わないでください。運転の障害となり、事故を起こす可能性があります。

# 安全にお使いいただくために

- 🚫 本製品は医療機器や高い安全性が要求される機器の近くでは使用しないでください。電波により機器に影響を与える恐れがあります。
- ⚠ 配線やケーブルはしっかりと固定してあるか確認してください。配線が身体、運転装置にからみ、事故を起こす危険性があります。
- 🚫 本製品に水をかけないでください。火災や感電の原因となります。
- 🚫 湿気の多い場所では使用しないでください。
- 🚫 本製品にぬれた手で触れないでください。感電する可能性があります。



## 注意

- 🚫 車内に人がいる状態で使用しないでください。警報音により、聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- 🚫 本製品をシンナー、アルコールなどで拭かないでください。変色の原因や故障の原因となります。
- 🚫 アンテナユニットのアンテナを内側に向けないでください。急ブレーキ時などにけがをする恐れがあります。
- 🚫 直射日光のあたる場所にリモコンをそのまま放置しないでください。製品が高温になりやけどをする可能性があります。また、損傷や故障の原因となります。
- 🚫 可燃物として廃棄しないでください。一般ゴミとして焼却した場合、有害物質が発生する可能性があります。
- ⚠ 電池から漏液した液が皮膚や衣装に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。

## 使用上のご注意

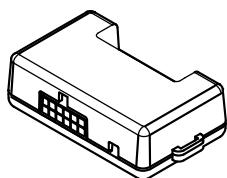
- 本製品のコネクタ端子に針金などの金属を触れないようにしてください。
- 乗車前には、必ず警戒モードの解除を行ってください。また運転中はリモコン操作を行わないでください。
- 本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し（キーレスを使用しないで）、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、純正キーレス連動はできません。
- 本製品は、他社製品のエンジンスターターおよびターボタイマーとの併用はできません。誤作動の原因となります。
- 警戒モード設定時は必ず、車のドアや窓ガラス、サンルーフなどを完全に閉めてください。窓ガラスが開いていると動作不良の原因となります。
- 警戒モードを設定した場合、強い風、雷及び雨などが降ったときや花火、飛来物などによって警報が発生する可能性があります。また窓ガラスやボディに直接衝撃が加わった際にも警報を発する可能性があります。
- 警戒モード設定中（駐車中）の車内に、人、小動物などがいない状態でご使用ください。センサが検知し、警報動作をします。
- リモコンを長期間使用しない時は、電池を取り外して保管してください。電源OFFの状態でも電池は消耗しますので、電池の寿命が短くなります。
- リモコンは完全防水ではありませんので、水が入らないようにしてください。
- 海外では使用しないでください。電波法違反により処罰対象となります。
- リモコンは湿気やホコリの多い場所、または高温になる場所では使用しないでください。発煙・発火・故障の原因となります。
- リモコンをテレビ・ラジオ・パソコンの近くで使用しないでください。電波により影響を受ける可能性があります。
- 技術適合証明ラベルは絶対にはがさないでください。ラベルをはがしますと技術適合品とみなされません。
- 強い電磁波のある所では使用しないでください。電磁波障害により誤動作の原因となります。
- 車全体にスマートフィルムが貼り付けてある場合、リモコンが使用できない場合があります。
- 本製品は自動式の立体駐車場には対応しておりません。振動や衝撃によって警報を発する恐れがあります。

# 安全にお使いいただくために

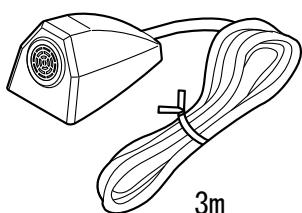
- 純正キーレス連動操作と弊社エンジンスターターのターボタイマー機能の併用は出来ません。（ターボタイマー使用時は純正キーレス連動操作による本製品のセット、リセットは出来ません）弊社エンジンスターターのターボタイマー機能と併用する場合は、本製品のリモコン及び弊社エンジンスターターのリモコンにて本製品のセット、リセットを行ってください。
- 強い雨や雪、ヒヨウなどを検知して警報を発する場合があります。また地下駐車場や空調ファンの振動や音が発生している場所、またはその他の振動・騒音が発生している場所、車やバイクの改造マフラー音等を検知して警報を発する場合があります。
- アンテナユニットや超音波センサなどの各センサ設置場所によっては衝撃や傾斜、侵入センサが反応しにくい場合があります。車両のサイズやガラスの厚さ等により、各センサの反応レベルは異なってしまいます。
- 一部の車両では純正キーレスやハザードの信号が安定せず、純正キーレスの操作に連動しない場合や本システムが使用出来ない場合があります。
- 本製品の動作の有無に関わらず、車両盗難や車上あらし等が発生しても弊社では一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品を取付けしたことによる車両や車載品の故障、事故等の付随的損害については、一切の責任を負いかねます。

# 同梱品一覧

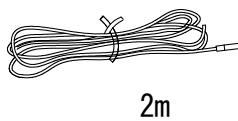
車載機



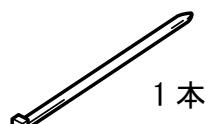
超音波センサユニット  
(送信側コネクタ：赤色)



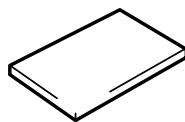
カーテシ延長線（黄）



車載機固定用  
バンドクランプ  
(35cm)



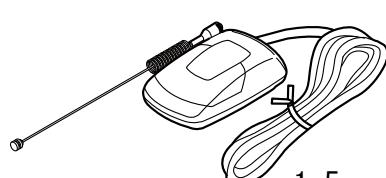
両面テープ  
(車載機用)



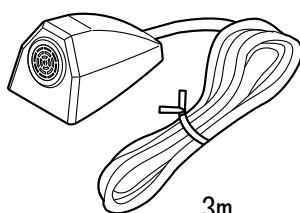
取付要領書



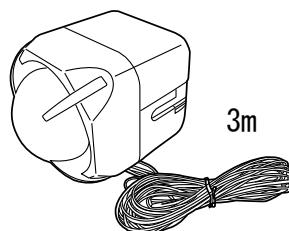
アンテナユニット



超音波センサユニット  
(受信側コネクタ：白色)



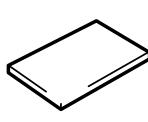
サイレン



ハーネス固定用  
バンドクランプ  
(10cm)



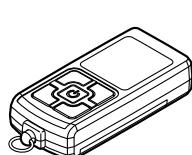
両面テープ  
(アンテナユニット用)



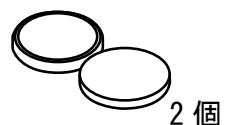
取扱説明書  
(保証書付)



リモコン



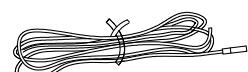
リモコン電池  
(CR2032)



2個

出荷時リモコンに  
セットされています。

ハザード延長線（白）



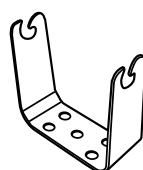
1.5m

サイレンブラケット固定用  
ボルト／ナット／  
ワッシャ

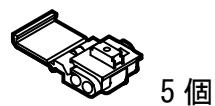


各2個  
(予備2個)

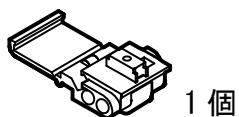
サイレン固定用  
ブラケット



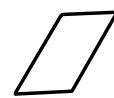
エレクトロタップ  
(桃色)



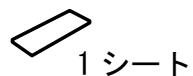
エレクトロタップ  
(水色)



VAS 適合  
証明書



ステッカー



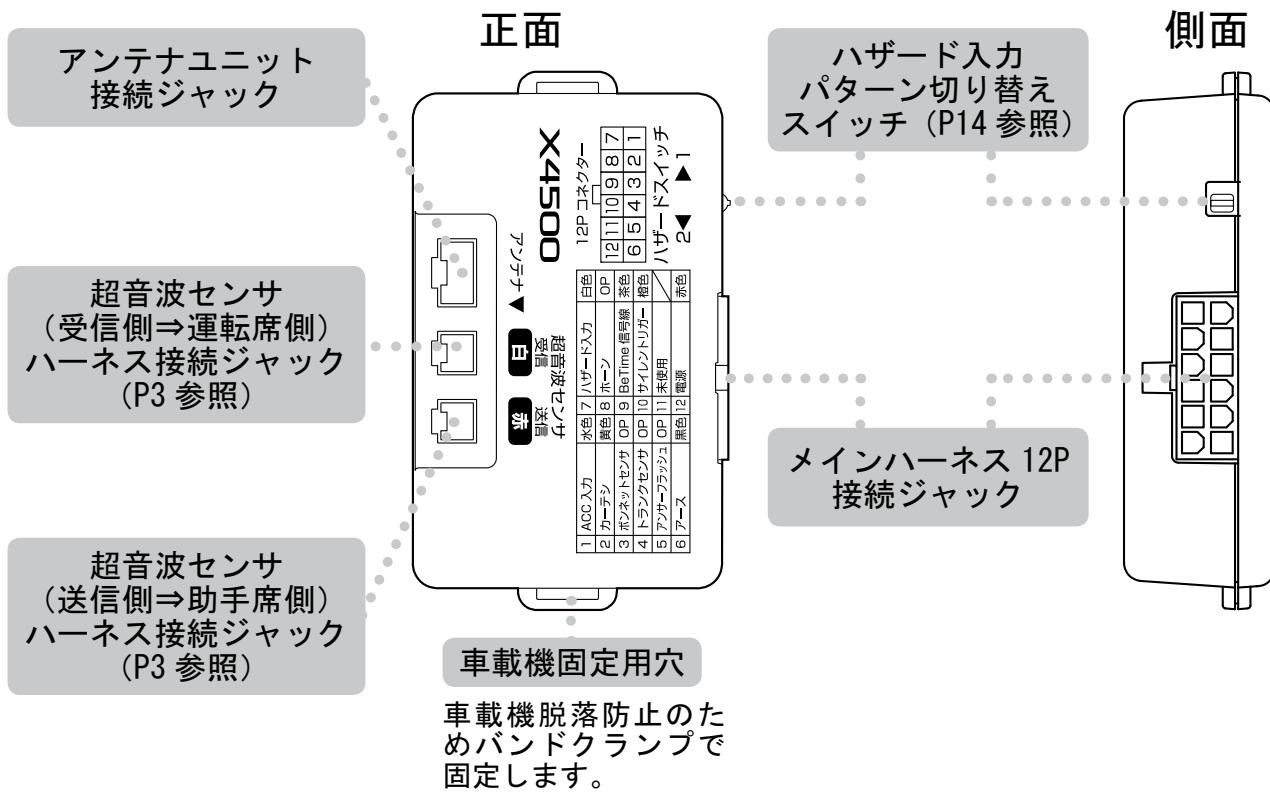
1シート

## アドバイス

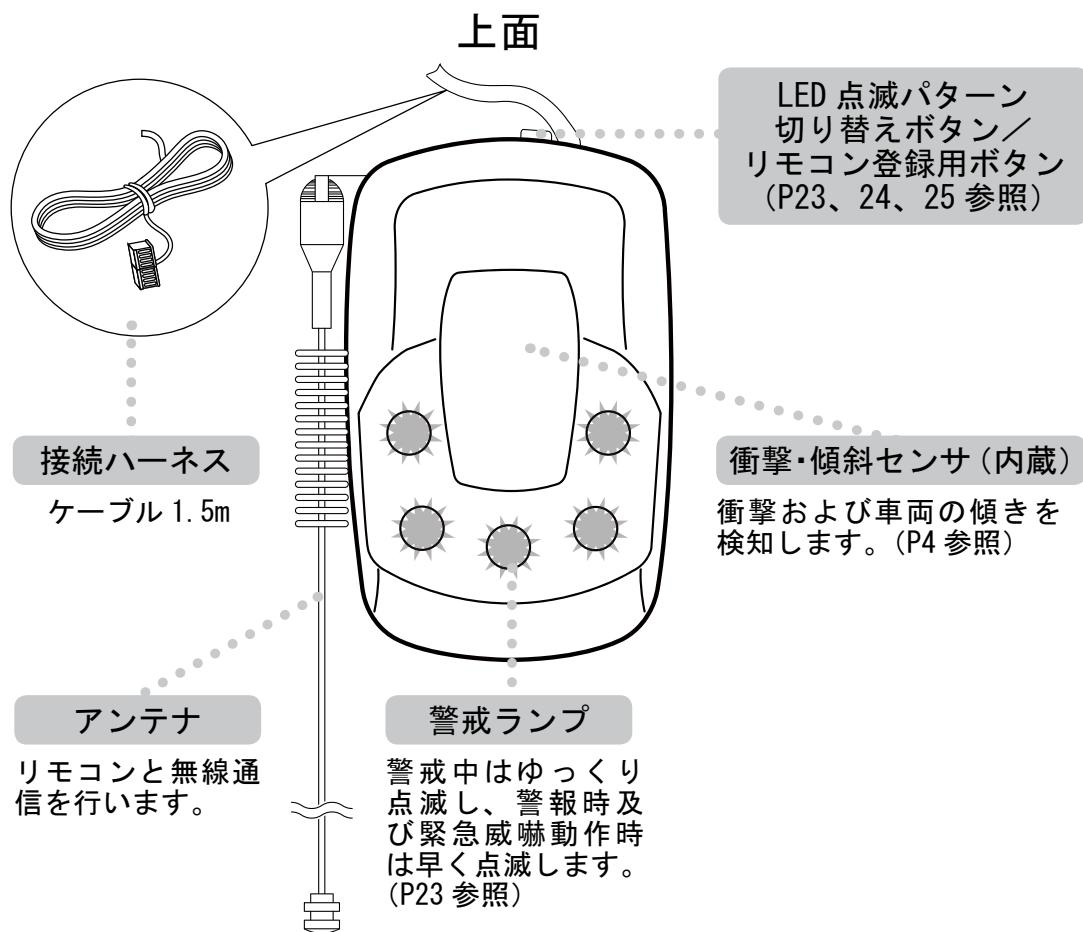
- ・同梱品の外観および製品仕様は製品の性能向上のために予告なしに仕様変更されることがあります。

# 各部名称と仕事

## 車載機

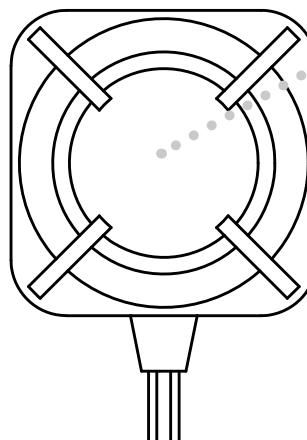


## アンテナユニット



# 各部名称とはたらき

## サイレン



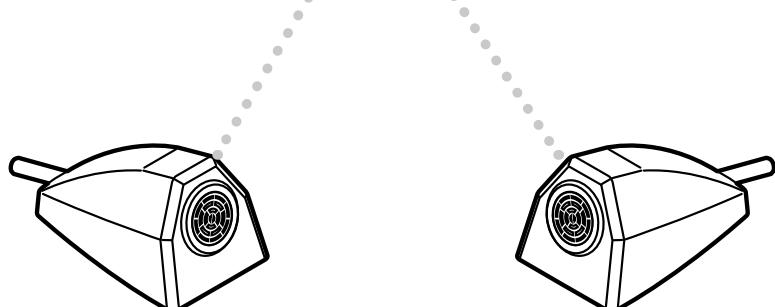
警報ブザー

威嚇の為の警報音（最大 125dB）  
を発します。  
「BEEP」1 トーンサウンド

## 超音波センサ

超音波センサ

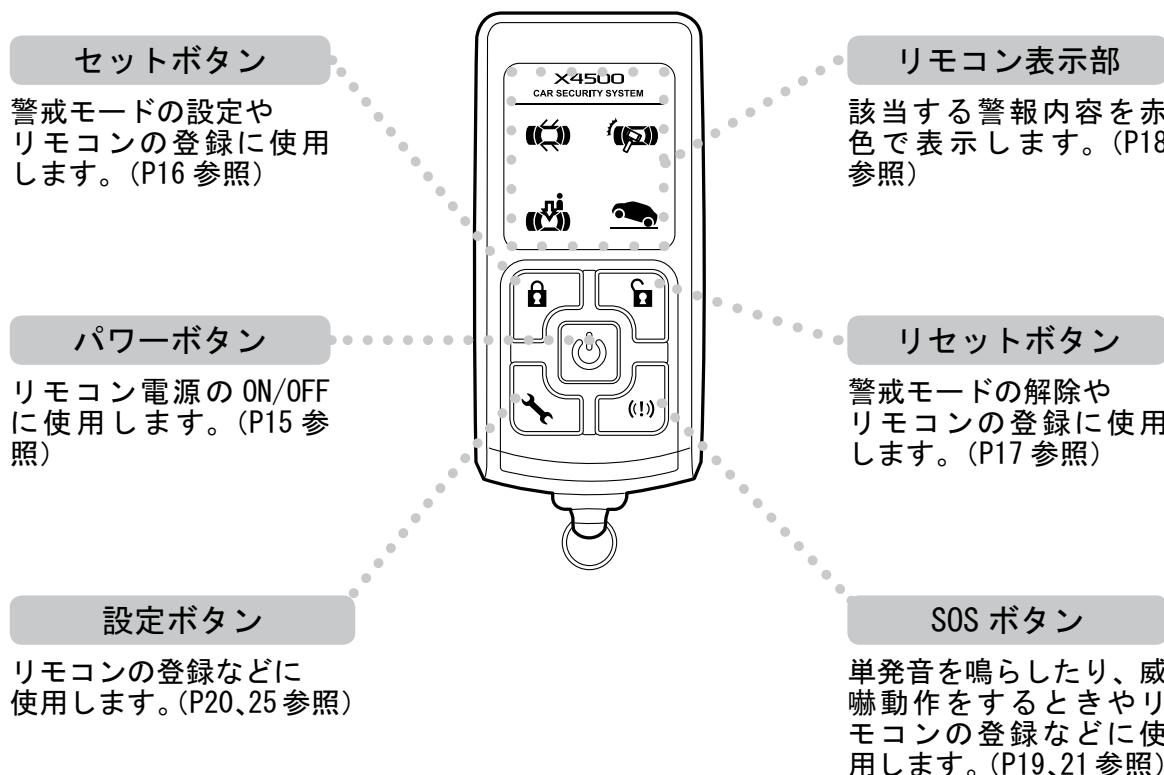
超音波を利用して、  
人体や物体の動き  
を検知します。



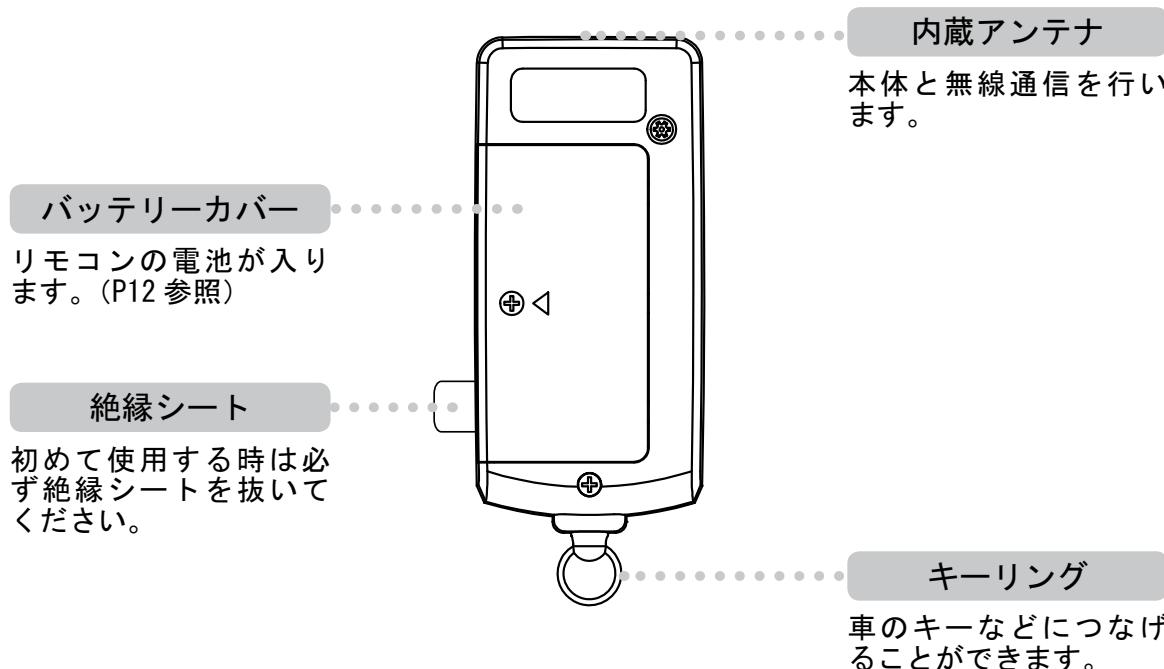
# 各部名称とはたらき

## リモコン

正面



裏面



# ご使用の前に

## リモコンの電池を交換する

製品購入時には、リモコンの電池は装着されています。必ず絶縁シートを抜いてから使用してください。  
電池を交換する場合は以下の手順に従って電池を装着してください。

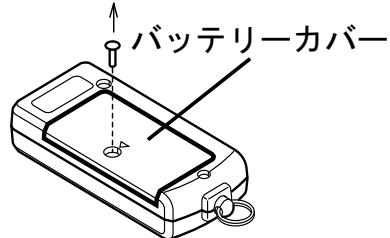
使用電池型式：CR2032 × 2個

### ！注意

指定電池（CR2032）以外は使用しないでください。

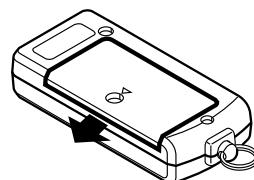
#### 1) バッテリーカバーのネジを外す

- ・プラスドライバーを使用してください。



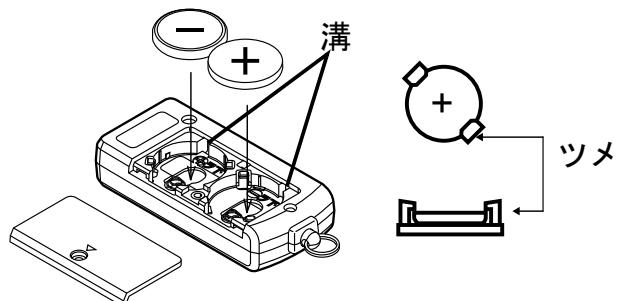
#### 2) バッテリーカバーを外す

- ・矢印方向へスライドしてバッテリーカバーを開けてください。



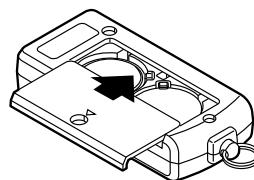
#### 3) 電池をいれる

- ・リモコン本体に表示してある+、-を確認して正しく入れてください。
- ・ツメにしっかりとはまるようにセットしてください。
- ・新しい電池と交換する場合は、右図の溝に細い棒等を入れ古い電池を取り外し、新しい電池に交換してください。



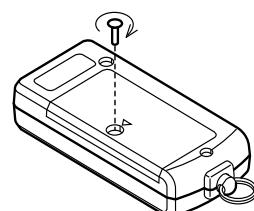
#### 4) バッテリーカバーを閉める

- ・矢印の方向へスライドしてバッテリーカバーを閉めてください。
- ・ツメが正しくはまるようにセットしてください。



#### 5) バッテリーカバーのネジを時計回りに締める

- ・プラスドライバーを使用してください。
- ・付属のネジ（M2 × 6mm）以外は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。



### アドバイス

- ・新品の電池を使用した場合、1日8回のセキュリティセット／リセット操作のみで約6ヶ月の使用が可能です。（リモコンへの異常警報通知や使用条件により電池寿命は異なります。）
- ・リモコンを長時間使用しないときは、電池を取り外して保管してください。
- ・工場出荷時はテスト用の電池をセットしていますので電池自体が自然放電して電池寿命が約6ヶ月間を下回る場合があります。

# ご使用の前に

## 通信範囲

リモコンからアンテナユニットへの無線通信には、微弱電波を使用しています。したがって、通信範囲は半径約10mです。

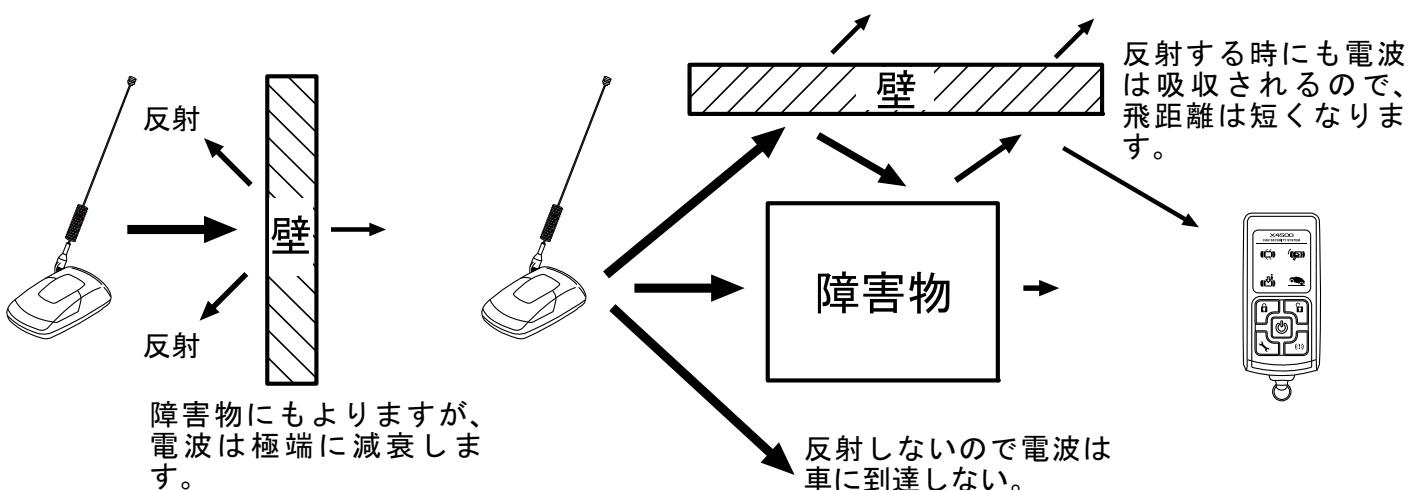
アンテナユニットからリモコンへの無線通信には、特定小電力無線を使用しています。したがって通信範囲は見通しで最大約1000m、市街地で最大約300mです。



## アドバイス

### 電波特性について

- ・鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にいると、極端に到達距離が短くなります。(電波が障害物によって反射するため)
- ・電波は直進しかしません。ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。逆に、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



# ご使用の前に

車両純正キーレスリモコン、スマートキー、インテリジェントキーをご使用の場合

(※ハザード延長線（白色 /1.5m）の接続が必要です。)

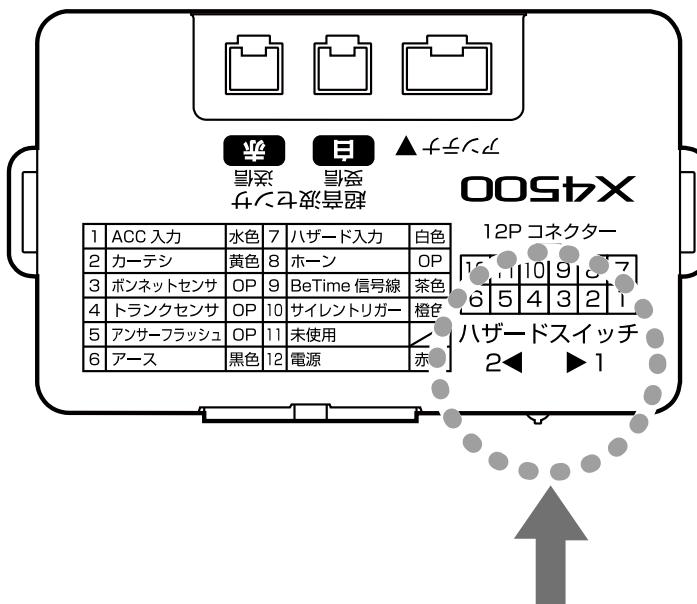
初期設定：ハザードスイッチ 1

ハザード点滅アンサーバック（作動確認）機能を搭載した車両純正キーレスリモコンのドアロック／アンロック操作に連動して、警戒モードを設定／解除することができます。

## ハザードスイッチ切り替えについて

初期設定ではドアロック操作をして、ハザードランプが1回点滅してから数秒後に警戒モードが設定されます。アンロック操作をして、ハザードランプが2回点滅してから数秒後に警戒モードが解除されます。

ドアロック、アンロック作動時のハザード点滅回数が入れ替わっている場合（ドアロック時：2回、アンロック時：1回）は車載機側面のハザードスイッチにより設定を「2」へ変更してください。



ハザードスイッチ設定	ハザード点滅方式
ハザードスイッチ 1（初期設定）	ロック時ハザード点滅1回 アンロック時ハザード点滅2回
ハザードスイッチ 2	ロック時ハザード点滅2回 アンロック時ハザード点滅1回

## 注意

- 上記以外のハザード点滅を行う車両、または車両純正キーレスリモコンを操作してもハザード点滅しない車両は、ドアロック／アンロック作動と連動して警戒モードの設定／解除をすることができません。
- 車両純正キーレスリモコンで警報動作を停止することはできません。

# 基本操作

設定、操作を行う前に配線接続が終了していることを確認してください。

## アドバイス

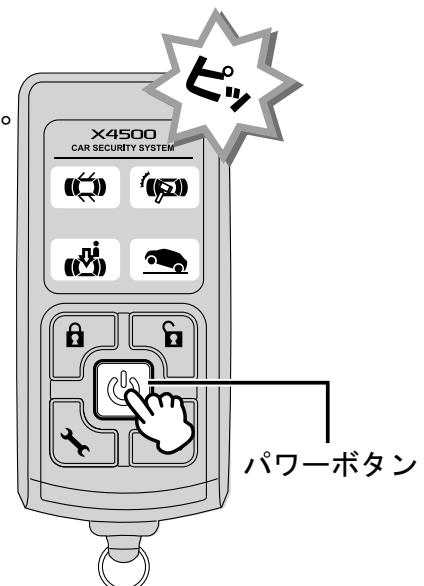
- ・リモコンを操作する場合は、電波の送信性を安定させるためにリモコンケースを手で包み込む事のないように操作してください。



## リモコンの電源を入れる

### 1) パワーボタンを2秒間押す

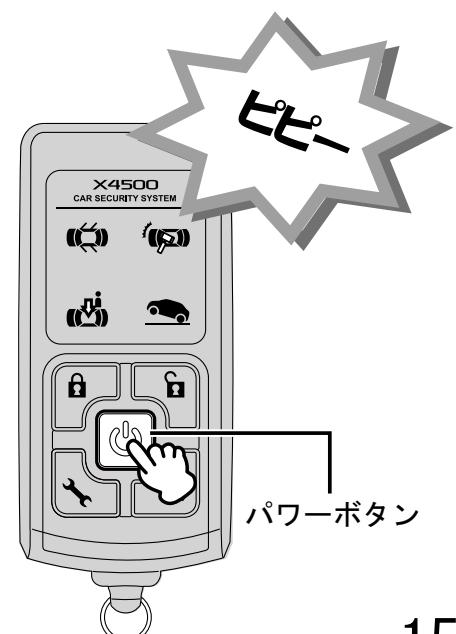
- ・リモコンから「ピッ」と音がします。
- ・全リモコン表示が約1秒間点灯し、電源ONになります。



## リモコンの電源を切る

### 1) パワーボタンを2秒間押す

- ・リモコンから「ピピー」と音がします。
- ・(リモコン表示は消灯し) 電源OFFになります。



# 基本操作

## 警戒モードを設定する

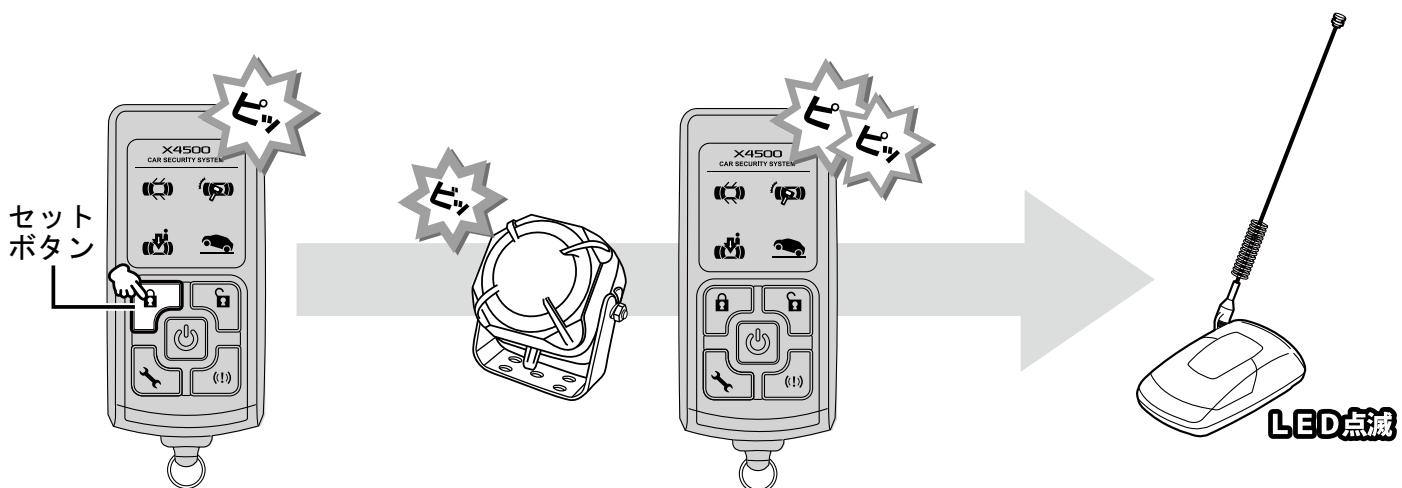
窓を完全に閉めてエンジンを切り、降車してすべてのドアをしっかりと閉めてください。

### 注意

- ・車内に人やペットがいる状態で使用しないでください。サイレンにより聴覚に異常をきたす恐れがあります。
- ・警戒モード中に車内で他の機器を作動させないでください。センサが検知する場合があります。

### 1) セットボタンを1秒間押す

- ・「ピッ」とボタン操作音がします。
- ・サイレンから「ビッ」と音がします。
- ・リモコンから「ピピッ」と音がして通信完了になります。
- ・警戒ランプが全点滅してキャンセルタイマーが開始されます。(約20秒間)
- ・警戒ランプの点滅パターンが切り替わり警戒モードとなります



### アドバイス

#### 通信エラーについて

- ・リモコン操作後、「ブッブー」と音がすると通信エラーです。サイレンおよび警戒ランプは作動しません。リモコンの通信範囲(半径約10m)および通信の妨げとなる遮断物がないか確認し、再度リモコン操作してください。

#### キャンセルタイマーについて

- ・キャンセルタイマー中は、警戒ランプが約20秒間全点滅します。このとき、各種センサは異常を検知しません。
- ・誤作動防止のため、キャンセルタイマー時間の調節および解除設定をすることはできません。

### 注意

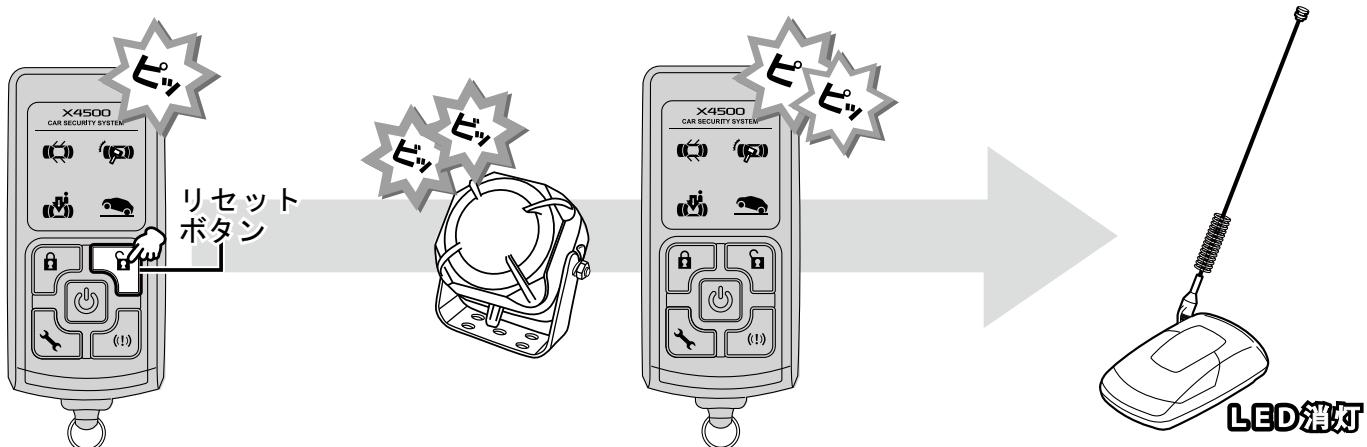
- ・ハザード点滅中(停車時)にセキュリティリモコンで警戒モードを設定した場合は、衝撃センサのみ反応しません。その他のセンサは反応します。

# 基本操作

## 警戒モードを解除する

### 1) リセットボタンを1秒間押す

- ・「ピッ」とボタン操作音がします。
- ・サイレンから「ビッビッ」と音がします。
- ・リモコンから「ピピッ」と音がして通信完了になります。
- ・警戒ランプが消灯します。



## 車両純正キーレスリモコンで設定／解除する

### 1) 車両純正のキーレスリモコンでドアロック操作する

- ・ハザードランプが点滅してから数秒後、付属リモコンで設定操作したときと同様にキャンセルタイマー→警戒モードが設定されます。

### 2) 車両純正のキーレスリモコンでアンロック操作する

- ・ハザードランプが点滅してから数秒後、付属リモコンで解除操作したときと同様に警戒モードが解除されます。

### 注意

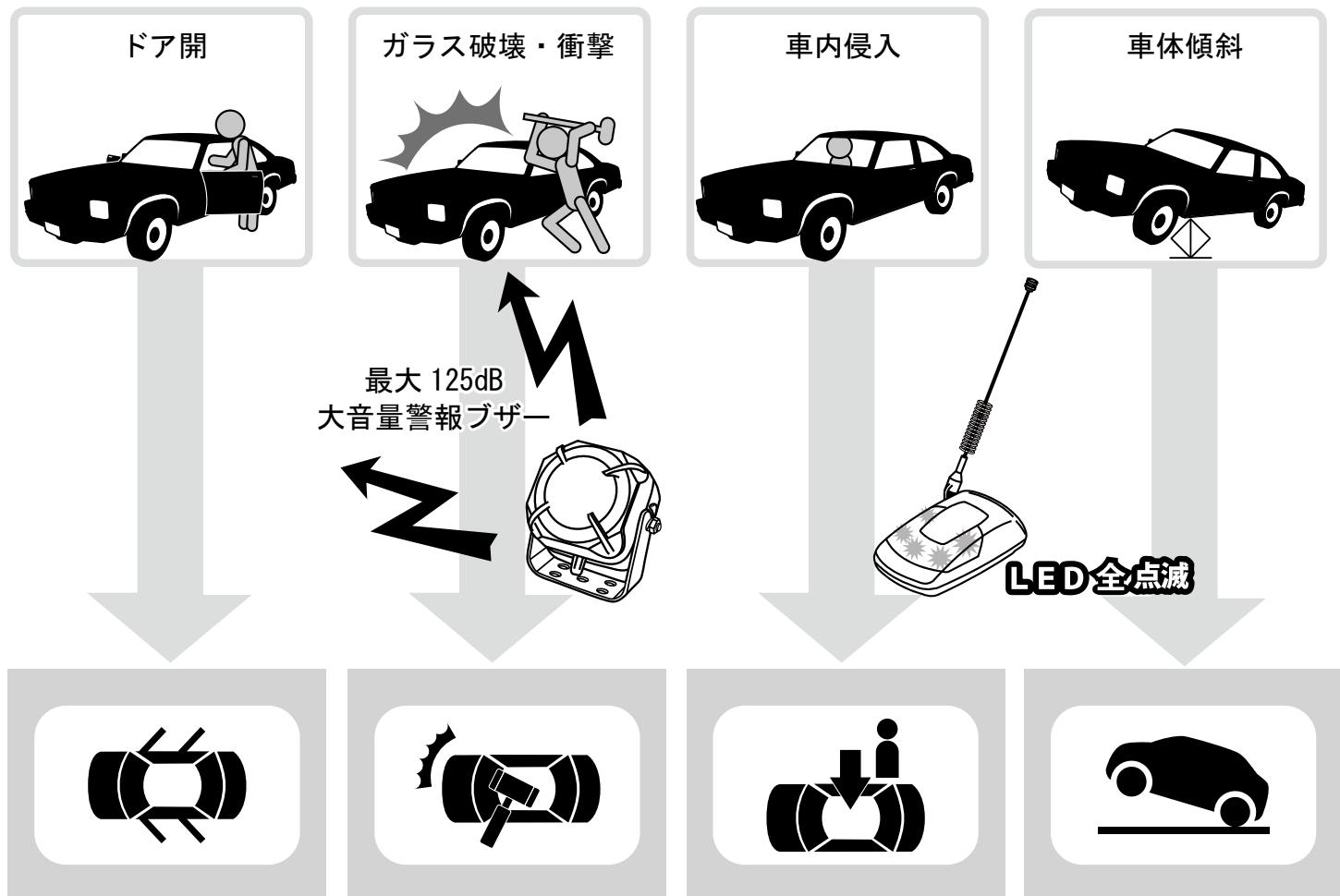
アンロック操作をしたときは、ハザードランプが点滅し、サイレンから「ビッビッ」と音がしたことを確認してから車両のドアを開けてください。その前に車両に乗り込むと警報動作を行ってしまう場合があります。

# 基本操作

## 検知・警報動作とリモコン表示

警戒モード中に窓ガラス破壊・車体への衝撃やドア開、車内侵入を検知したときには、警報動作（警戒ランプが短い間隔で全点滅し、サイレンは最大 125dB で鳴動）を発し、リモコンヘアラーム通知します。警報動作は 30 秒後に停止しますが、警戒モードは継続していますので、再度異常を検知すると警報動作します。

※ただし、リモコンが通信可能範囲外の場合は、アラーム通知はされません。



リモコンは異常通知を受信すると各異常別のリモコン表示の点滅、および「ピーピー・ピーピー・ピーピー・」と音で 10 秒間お知らせします。

10 秒間に別の異常通知を受信すると該当するリモコン表示の点滅に切り替わり、再度 10 秒間、リモコンの音と合わせてお知らせします。

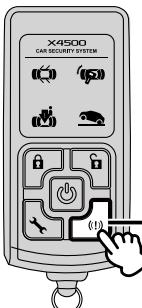
10 秒後にリモコンの音は停止し、リモコン表示は消灯しますが、警戒モードは継続していますので再度異常通知を受信するとリモコン表示と音でお知らせします。

# 基本操作

## 異常通知／警報動作を停止する

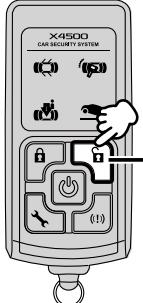
### サイレンのみ停止する場合（警戒モード継続）

1) SOS ボタンを 1 秒間押して離す、または SOS ボタンを 3 秒以上押す

操作内容	リモコン操作音	状態
 SOS ボタン	SOS ボタンを 1 秒間押して離す	ピッ
	SOS ボタンを 3 秒以上押す	ピピー

### サイレンおよび警戒モードを解除する場合

1) リセットボタンを 1 秒押す、または IG キーを ACC ポジションにする

操作内容	リモコン操作音	状態
 リセットボタン	リセットボタンを 1 秒押す	ピッ 警戒モードが解除されます。
	IG キーを ACC ポジションにする	—

### 軽い衝撃を検知した場合

サイレンが「ビーッ」と 1 回鳴り、警戒ランプはサイレンに合わせて全点滅し、不審者を威嚇します。軽い衝撃の検知時は、リモコンへのアラーム通知は行われません。

軽い衝撃の検知に対する威嚇動作は、保安基準により 1 回の警戒モード設定に対し、合計 10 回まで作動します。11 回目以降は軽い衝撃に対する威嚇動作を行いません。

#### 注意

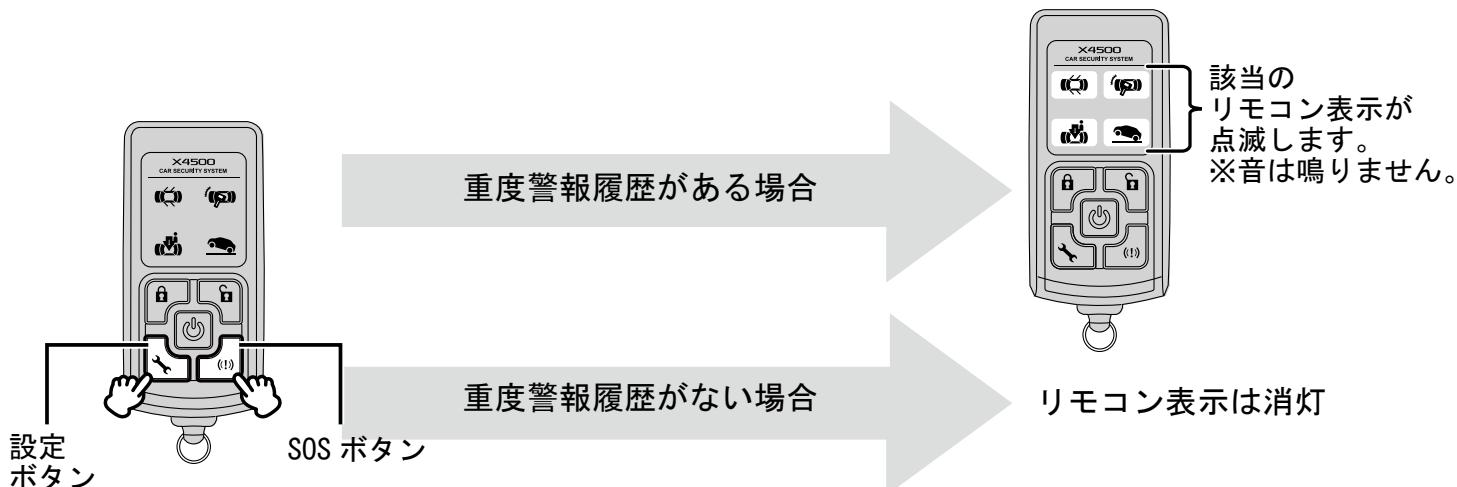
- リモコンへの異常アラーム通知が受信して（電波を受けて）いる時は、リセットボタンや SOS ボタンをすぐに押してもリモコンからの送信（電波を送っている）がタイミングによりぶつかり、停止や解除できない場合があります。再度リセットボタンや SOS ボタンを押し、サイレンの停止や警戒モードの解除を行ってください。

# 応用操作

## 最終重度警報履歴表示機能

リモコンは、最終の異常通知（軽い衝撃は除く）を履歴として記憶します。リモコンを操作して最終重度警報を確認することができます。

### 1) 設定ボタンとSOSボタンを同時に1秒間押す



### アドバイス

リモコンのセットボタンを押す、またはリモコンの電池を取り外す（電池が切れる）と履歴はクリアされます。それ以外の操作を行っても履歴は残ります。

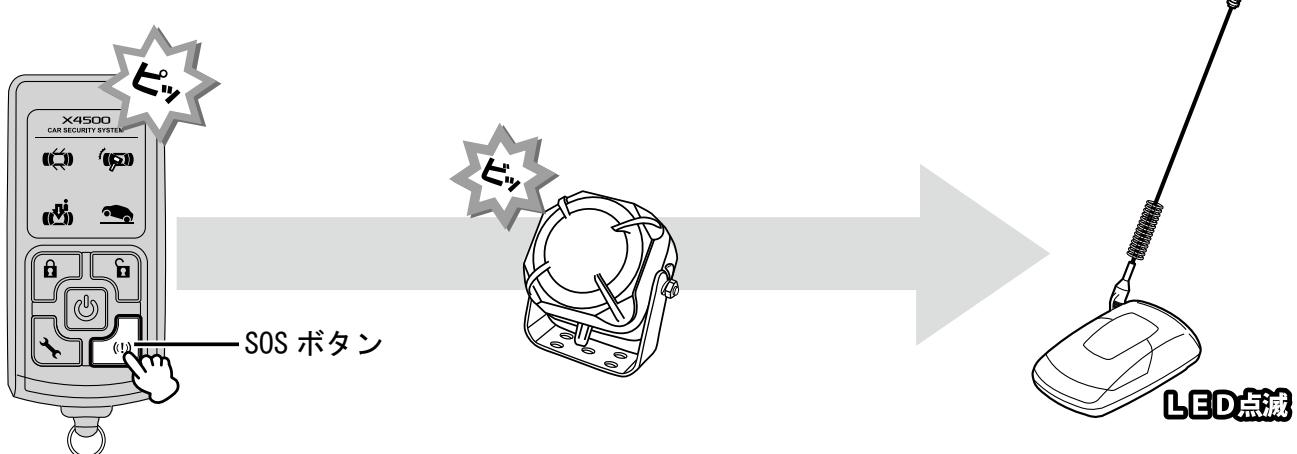
# 応用操作

## 単発警報サイレン音発生機能

リモコンを操作して任意にサイレンから単発警報サイレン音を1回のみ鳴らすことができます。  
リモコンの送信距離は半径約10mです。(P13参照)

### 1) SOSボタンを1秒間押して離す

- ・リモコンから「ピッ」と音がします。
- ・SOSボタンを放した際にサイレンが「ピッ」と1回鳴ります。
- ・警報ランプがサイレンに合わせて全点滅します。



## 緊急SOS機能(サイレン警報連続作動)

リモコンを操作して任意にサイレンを30秒間鳴らすことができます。  
リモコンの送信距離は半径約10mです。(P13参照)

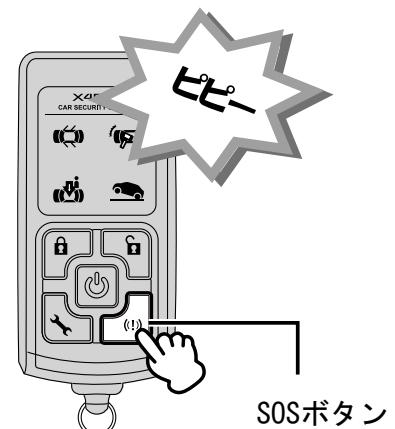
### 1) SOSボタンを3秒以上押す

- ・リモコンから「ピピー」という音がし、サイレン警報動作が開始されます。
- ・約30秒間サイレンが鳴り、警戒ランプが点滅し続けます。

## 停止方法

### 1) 警報動作中(30秒間)に再度SOSボタンを3秒以上または1秒間押してSOSボタンを離す

- ・サイレン警報動作が停止されます。



## ! 警 告

- ・緊急SOS機能は非常時のみご使用ください。

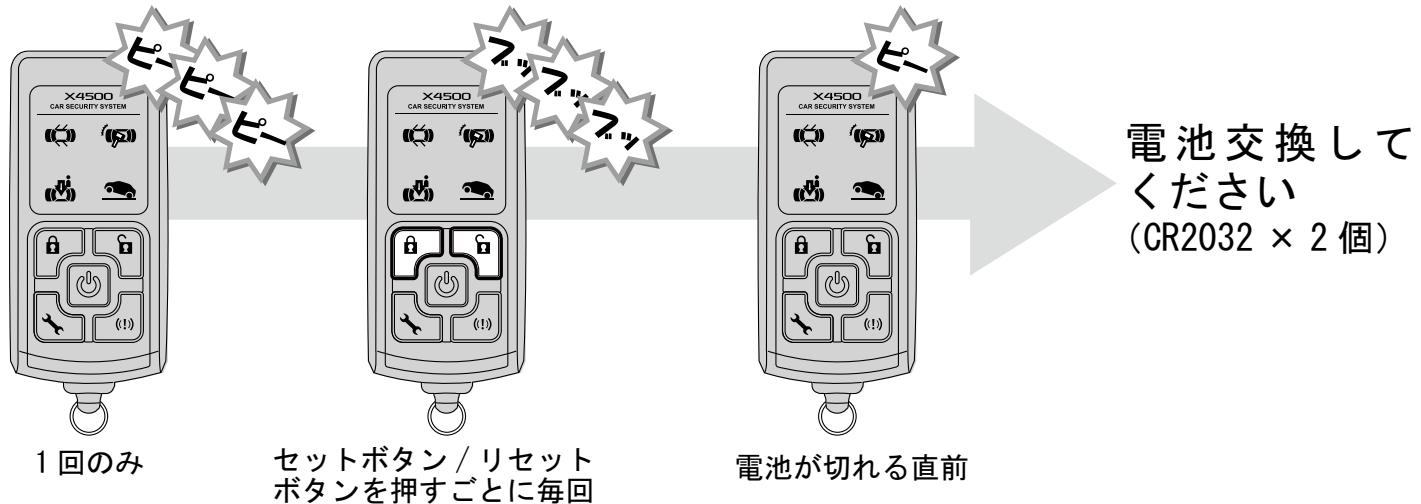
# 応用操作

## リモコン電池の低下通知

リモコン電池の残量が約30%になると、「ピーピーピー」という音で電池残量低下を1回のみお知らせします。

その後セットボタンまたはリセットボタンを押すごとに、「ブッブッブッ」という音でお知らせします。

電池が切れる直前には「ピー」という連続音でお知らせをします。速やかに電池交換してください。



## 緊急時のサイレン停止方法

リモコンの紛失や電池切れ、ケーブルの断線や車両のバッテリー上がりなどの各種トラブルにより手動でサイレンを停止させる場合は、以下の方法を行ってください。

- 1) IGキーをACCポジションにすることで解除できます

### アドバイス

- ・IGキーで停止した場合は、警戒モードが解除されます。
- ・ケーブル断線時はお買い求めの販売店または、弊社サービス部までお問い合わせください。

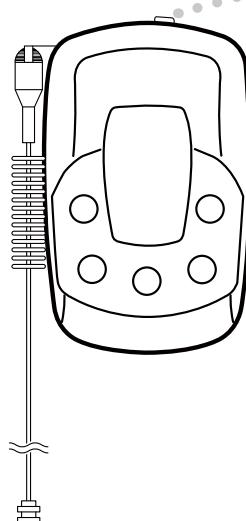
# 応用操作

## 警戒ランプ点滅パターン切り替え機能

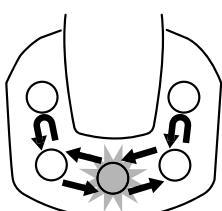
### 初期設定：パターン①

- 警戒モード解除中に、アンテナユニットのLED点滅パターン切り替えボタンを押すことで、警戒ランプの点滅パターンを切り替えることができます。
- LED点滅中は切り替えできません。
- 点滅パターンは下記①～④の4種類あります。

LED点滅パターン  
切り替えボタン

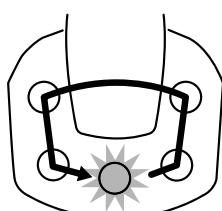


### パターン① (初期設定)



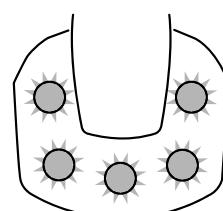
スイング

### パターン②



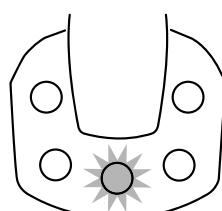
スキャン

### パターン③



全5灯点滅

### パターン④



中1灯点滅

ボタンを押さずに10秒以上経過

警戒ランプ消灯で設定完了

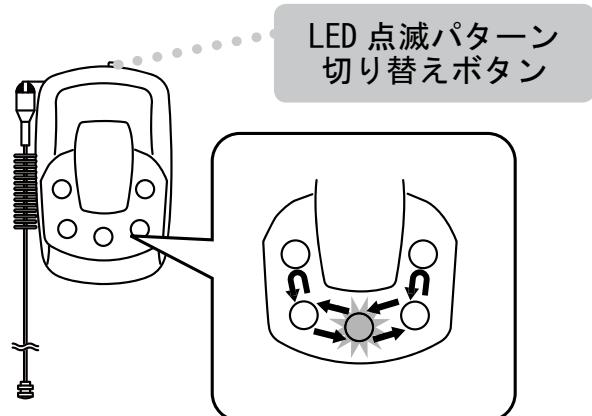
# 応用操作

## リモコン登録機能

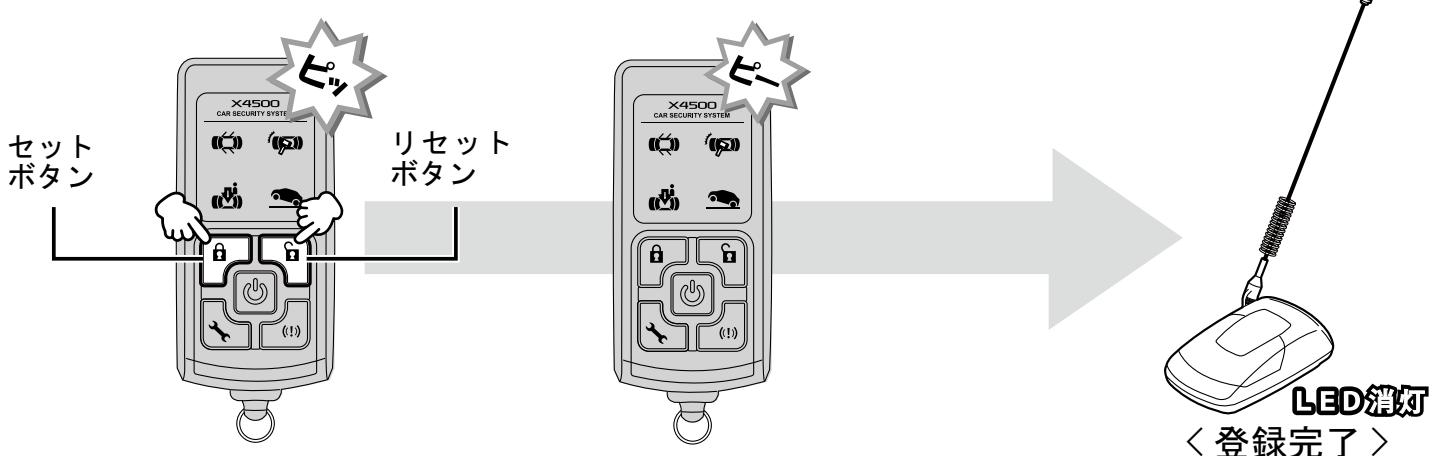
- ・リモコンは、最大3台（付属のリモコンを含む）まで登録することができます。
- ・万が一、リモコンを紛失または破損した場合でも別売品（オプション）の追加リモコンを登録することで、車載機やアンテナユニットを交換することなく、引き続きご使用いただけます。
- ・車両のバッテリー交換やメインハーネスを外した場合など、リモコンで警戒モードの設定／解除ができなくなった場合は、付属リモコンの再登録が必要となります。
- ・リモコンは、1台目（付属）、2台目（追加）、3台目（追加）でそれぞれ登録方法が異なります。以下の手順に従って登録してください。

### 1台目（付属）のリモコン再登録方法

- 1) 警戒モード解除中にアンテナユニットのLED点滅パターン切り替えボタンを5秒以上押す
  - ・警戒ランプがパターン①のスイング点滅します。

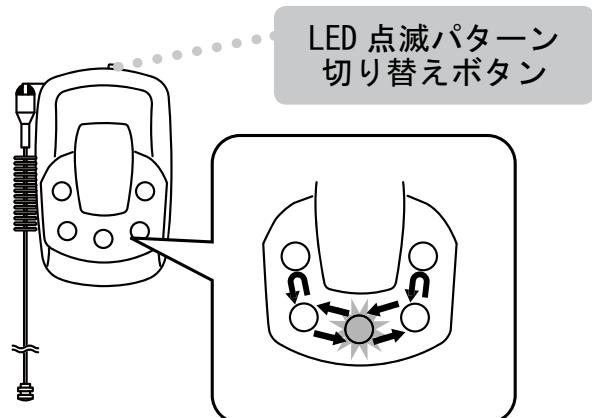


- 2) 警戒ランプが点滅してから30秒以内に、登録するリモコンのセットボタンとリセットボタンを同時に1秒間押す
  - ・「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピー」と登録確認音が鳴り、警戒ランプが消灯し登録完了。



### 2台目のリモコン追加登録方法

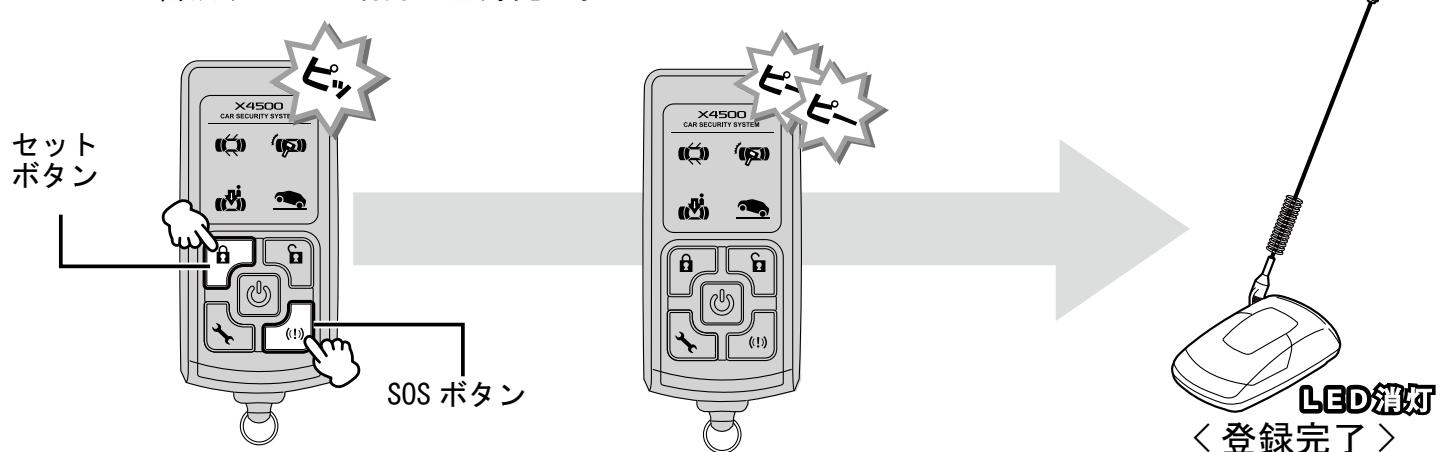
- 1) 警戒モード解除中にアンテナユニットのLED点滅パターン切り替えボタンを5秒以上押す
  - ・1台目と同様に警戒ランプがパターン①のスイング点滅します。



# 応用操作

## 2) 警戒ランプが点滅してから30秒以内に、登録するリモコンのセットボタンとSOSボタンを同時に1秒間押す

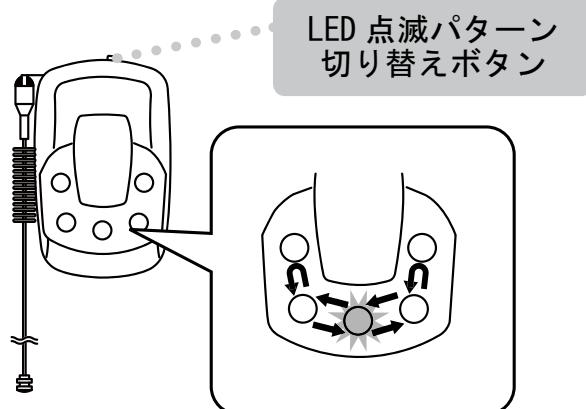
- ・「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピーピー」と登録確認音が2回鳴り、警戒ランプが消灯し登録完了。



## 3台目のリモコン追加登録方法

### 1) 警戒モード解除中にアンテナユニットのLED点滅パターン切り替えボタンを5秒以上押す

- ・1、2台目と同様に警戒ランプがパターン①のスイング点滅します。



### 2) 警戒ランプが点滅してから30秒以内に、登録するリモコンのセットボタンと設定ボタンを同時に1秒間押す

- ・「ピッ」とボタン操作音が鳴った後、リモコンから「ピーピーピー」と登録確認音が3回鳴り、警戒ランプが消灯し登録完了。



## アドバイス

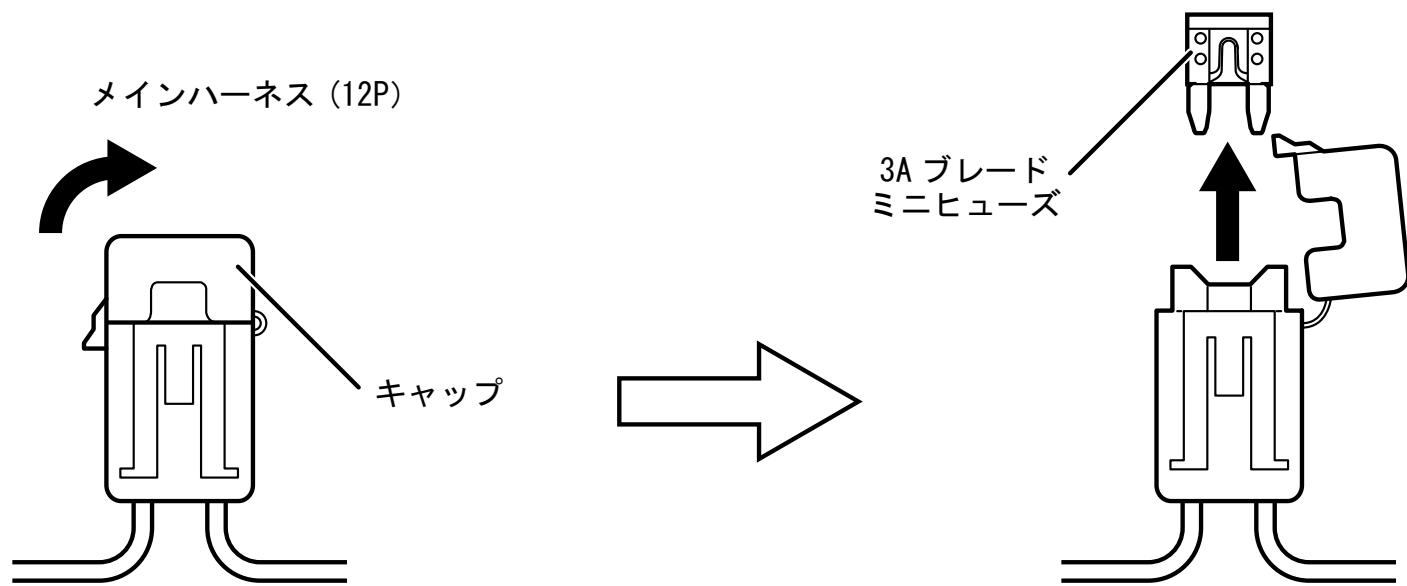
警戒ランプがスイング点滅してから30秒以内に登録操作がされない場合はタイムアウトとなり、警戒ランプが消灯し登録モードが終了します。再度手順①から操作してください。

# 応用操作

## ヒューズの交換方法

メインハーネス（12P）のキャップ（白いプラスチック部）を開けてヒューズを取り出して交換してください。

- ・ヒューズが切れた場合は市販の3Aブレードミニヒューズを別途お買い求めください。
- ・ヒューズを交換しても再びヒューズが切れる場合は、お買い求めの販売店にご相談ください。



# 付録

## オプションについて

新保安基準でオプションを取付ける場合は、本製品を含めて全体で平均 30mA 以下で取付ける必要があります。

本製品の取付け可能オプション、平均待機電流は下記になります。

品名	平均待機電流
X4500 システム全体（本製品）	11mA
Be-968	0mA
SS-051	0mA
SS-057	0mA
SS-067	0mA

## 仕様

### システム全体

消費電流 (12V)	警戒時… 11mA 以下 (平均値)
	警報時… 1500mA 以下 (最大値)

### 車載機

電源電圧	DC12V
動作温度範囲	-40°C ~ +85°C
寸 法	全長 80mm × 全幅 50mm × 全高 19mm
重量	47 g

# 付録

## アンテナユニット

適合技術基準	特定小電力無線
使用周波数	426MHz 帯
通信方式	単向通信方式
電源電圧	DC5V
動作温度範囲	-40°C ~ +85°C
寸 法	全長 42mm × 全幅 64mm × 全高 31mm ケーブル 1.5m
重量	24 g

## サイレン

電源電圧	DC12V
動作温度範囲	-40°C ~ +125°C
寸 法	全長 69mm × 全幅 58mm × 全高 58mm ハーネス 3m
重量	215 g (コード含む)
警報音圧	最大 125dB (正面 1m)

## リモコン

適合技術基準	微弱電波
使用周波数帯	315MHz
通信方式	単向通信方式
電源電圧	DC6V
消費電力	待受け時… 55 μ A (平均値) 警報時… 15mA (ピーク値)
動作温度範囲	-10°C ~ +60°C
寸 法	全長 65mm × 全幅 31mm × 全高 14.5mm
重量	28 g
連続動作	約 6 ヶ月 (1 日 8 回使用)

# 付録

## 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に下記の点検をお願いします。

症 状	確 認	対 策
リモコンが反応しない	リモコンの電源はONになっていませんか？	リモコンの電源をONにしてください。(P15 参照)
本体が反応しない	本体部の配線は全て正しく接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
	リモコンからアンテナユニットへの通信可能距離でリモコンを操作していますか？	通信可能距離まで移動してください。 障害物等の使用環境で通信可能距離は大きく異なります。(P13 参照)
警報動作しない	リモコンのアンテナ部を手などで覆っていませんか？	アンテナ部から手を離してください。(P15 参照)
	警戒モードの設定はされていますか？	警戒モードに設定してください。(P16 参照)
	警戒モードに設定して20秒以上経過していますか？	20秒後に確認してください。(P16 参照)
超音波センサが反応しない	超音波センサの取付け位置は指定の位置に正しく取付けてありますか？	取付けが正しく行われているか確認してください。
ドアを開けても反応しない	カーテシ線の配線は全て正しく接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
警報動作するがリモコンに通報されない	アンテナユニットからリモコンへの通信可能範囲で使用していますか？	通信可能範囲で使用してください。 障害物等の使用環境で通信可能範囲は大きく異なります。(P13 参照)
サイレンが鳴らない	サイレン部の配線は全て正しく接続されていますか？	配線、接続を確認してください。
リモコンから異音・異臭がする	リモコンから電池を外してください。(P12 参照)	

左記を点検してもなお異常がある場合は、ただちに使用を中止して  
お買い上げの販売店へお持ちください。



## 取付要領書

〈国産 12V 車専用〉

このたびは、X4500をお買上げいただきありがとうございました。

本製品は、12V車以外の車両には取付けることができませんので注意してください。

本書は、X4500の取付要領について記載しております。

取付け前に必ずお読みいただき、正しい取付けを行ってください。

取付けミスは、誤作動や車両の電装品に悪影響を与える原因となります。

車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても弊社では一切の責任を負いかねます。

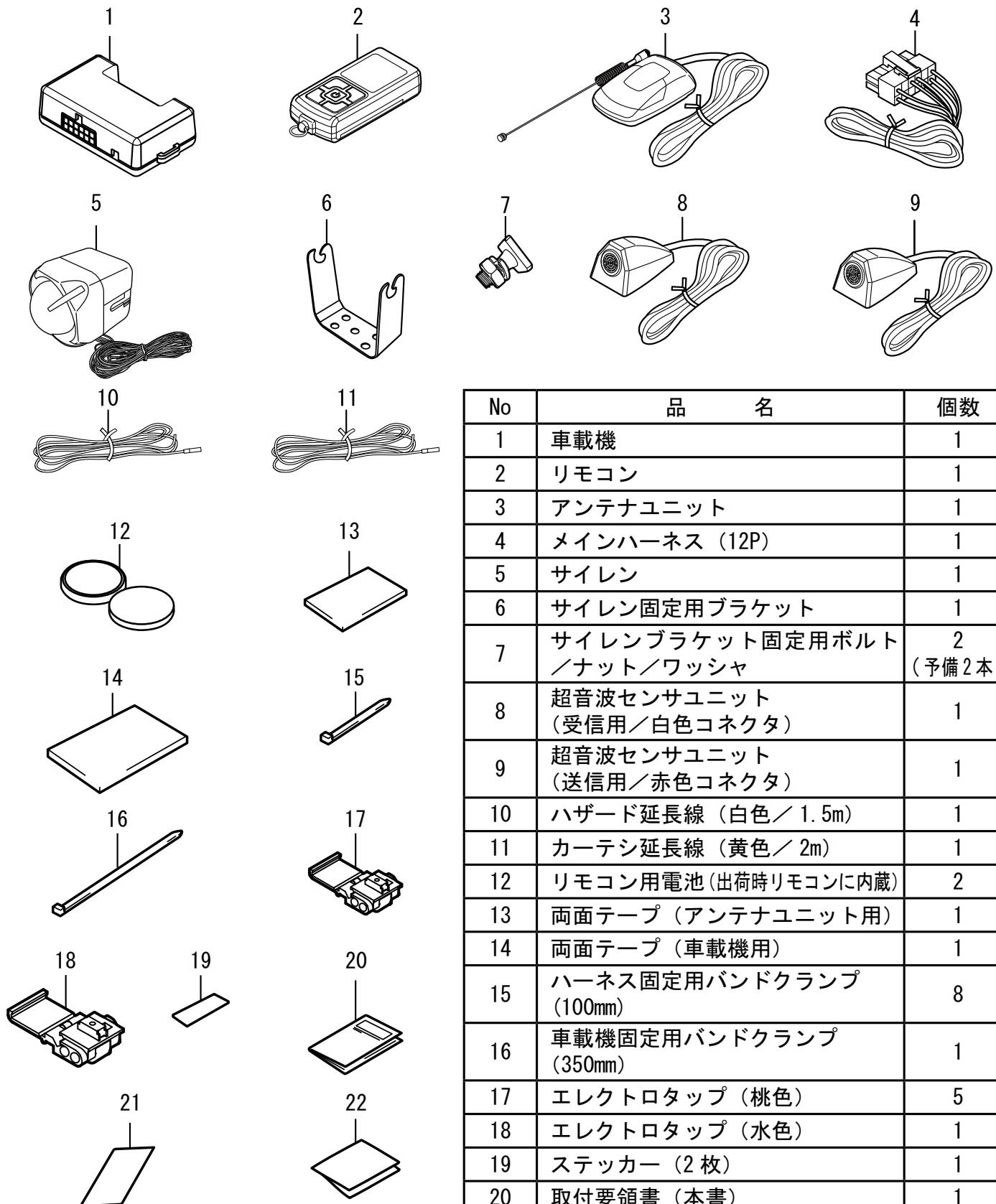
また、別冊の「取扱説明書」は必ずお客様にお渡しください。

品番
X4500

### 用語の定義

△警告	このマークのついた“注意事項”を守らないと事故につながったり、人が死亡したり重傷を負うなどのおそれがあります。
△注意	このマークのついた“注意事項”を守らないと事故につながったり、けがをしたり、車両や部品を損傷するなどのおそれがあります。
👉アドバイス	このマークは、作業をスピーディおよび容易にするための補足説明を表します。
「前・後・左・右」	車両運転状態（運転者が車両前方を見た状態）での向きを表します。

# 構成部品



# 取付け上の注意事項

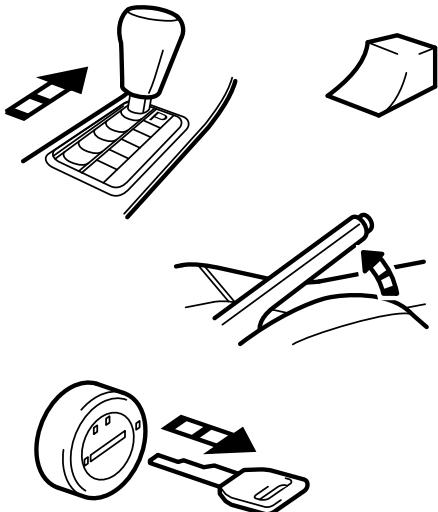
取付けに際しては「本書」に記載されている“注意事項”を必ず取付けに反映させて作業を行ってください。

もし、これらの“注意事項”を無視して取付けた場合は、X4500の正常な作動を阻害するばかりでなく、人身事故、車両事故につながるおそれがあります。

## △注意

### 1. 取付作業の前に

- ・本製品は12V車両で(-)アースの車両のみ取付け可能です。
- ・本製品は他社製品のエンジンスターターおよびターボタイマーとの併用はできません。誤作動の原因となります。
- ・本製品を取り付ける前に車両部品の点検を行ない正常に作動することを確認してください。
- ・ショート防止のため、バッテリー(-)ケーブルをはずしてください。
- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・シフトレバーは、パーキングに入れて作業を行ってください。
- ・サイドブレーキは、必ず引いて作業を行ってください。
- ・キーが抜かれていることを確認して作業を行ってください。
- ・お客様の利用状況を確認した上で取付位置を決定してください。



### 2. 取付けについて

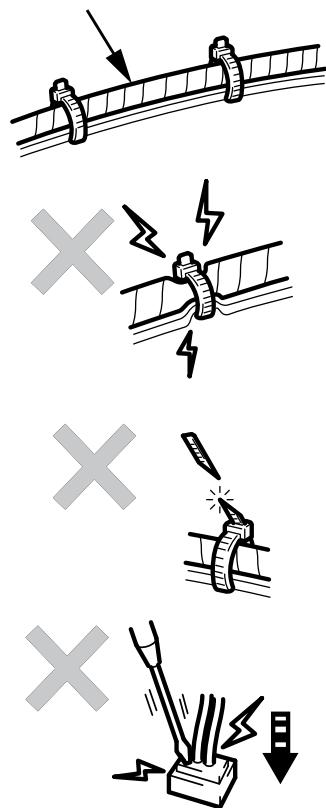
- ・ユニットおよび配線は振動で動いたり、はずれたりしないようしっかりと固定してください。事故や故障の原因になります。
- ・両面テープで固定する場合は、貼り付け面の汚れ、油脂分、水分などをきれいに拭き取っておいてください。十分な接着力が得られず、振動で動いたり、はずれたりするおそれがあります。
- ・両面テープでの貼り付けは、1分間程度押さえ付けてしっかりと接着させてください。
- ・気温が低い場合は、接着力が落ちるので、ドライヤーなどで暖めながら貼り付けてください。
- ・両面テープの貼り直しは、接着力が落ちるので絶対に行わないでください。
- ・両面テープでの貼り付けは、本製品を必要以上に強く押さえないとください。破損するおそれがあります。
- ・本製品が著しく高温になる位置は避けてください。
- ・本製品が安全のために運転または操作の妨げや居住性を損なわない場所を選んでください。
- ・本製品はエアバッグ上部および展開範囲内へは絶対に取付けないでください。
- ・本製品は小物入れのフタなどの可動部および展開範囲内への取付けを避けてください。



### 3. 配線について

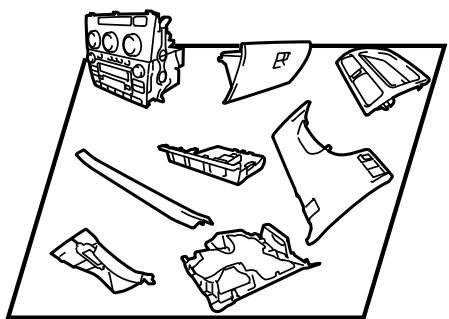
- ・ハーネスの接続は指示通り正しく行ってください。間違って接続すると、誤作動や故障の原因になります。
- ・ハーネスは座席レールなど車両側の可動部分（30mm以上離す）や排気管のような高熱部分（100mm以上離す）に接触しないように、すき間を十分確保して配線してください。
- ・ハーネスはブラブラしないようバンドクランプなどを利用して固定してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすことがあります。
- ・バンドクランプで固定する場合は、ハーネスが変形するほど強く締め付けないでください。
- ・バンドクランプは締め付け後、余った先端部を切り取ってください。切り取る際、なるべく根元でカットし、斜めカットはしないでください。
- ・ハーネスを車両貫通穴やエッジ部、スポット溶接のバリなどに通す場合は、それらの部分に保護テープを貼って必ず保護してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすことがあります。
- ・ハーネスを強くねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。内部ショート、断線、水入りの原因になります。
- ・コネクターをはずす場合は、ハーネスを引っ張らず、コネクターを持ってはずしてください。
- ・各コネクターを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込まないでください。コネクターの端子間でショートするおそれがあります。
- ・コネクターは、しっかり奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。
- ・重要保安部（エアバッグなど）の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になるおそれがあります。
- ・配線を固定する際、特に駆動部やブレーキパイプ、ホース類には固定しないでください。
- ・復元する際、ハーネスが噛み込まないようにしてください。

車両ハーネス



### 4. 取付けについて

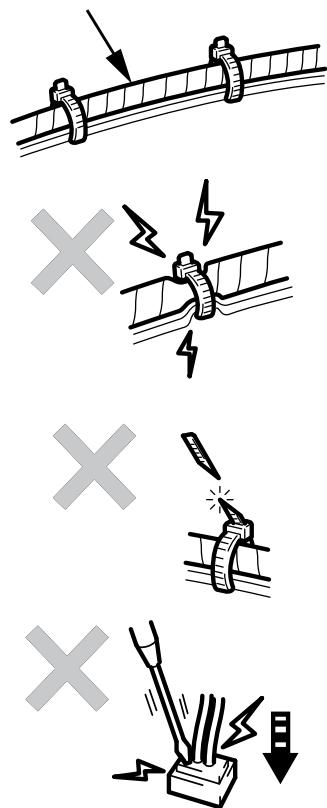
- ・取りはずした車両部品は部品ごとに整理して復元するときに間違えないようにしてください。また、傷を付けたりしないよう取り扱いに注意してください。
- ・持ち運びの際、リモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- ・本製品のサイレン音は、防犯上非常に効果的な125dBで発報するため、騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で作動確認を行ってください。
- ・本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありませんので注意してください。
- ・作動確認を行う場合、必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- ・ステッカーは決められた箇所以外の窓ガラスには貼らないでください。  
(ステッカーの貼り付けは、P31の“ステッカーの貼り付け”を参照してください。)



### 3. 配線について

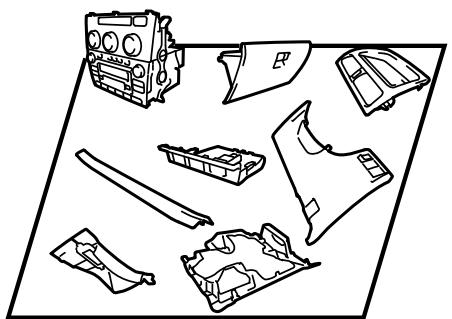
- ・ハーネスの接続は指示通り正しく行ってください。間違って接続すると、誤作動や故障の原因になります。
- ・ハーネスは座席レールなど車両側の可動部分（30mm以上離す）や排気管のような高熱部分（100mm以上離す）に接触しないように、すき間を十分確保して配線してください。
- ・ハーネスはブラブラしないようバンドクランプなどを利用して固定してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすことがあります。
- ・バンドクランプで固定する場合は、ハーネスが変形するほど強く締め付けないでください。
- ・バンドクランプは締め付け後、余った先端部を切り取ってください。切り取る際、なるべく根元でカットし、斜めカットはしないでください。
- ・ハーネスを車両貫通穴やエッジ部、スポット溶接のバリなどに通す場合は、それらの部分に保護テープを貼って必ず保護してください。ハーネスが傷付き、故障や事故を引き起こすことがあります。
- ・ハーネスを強くねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。内部ショート、断線、水入りの原因になります。
- ・コネクターをはずす場合は、ハーネスを引っ張らず、コネクターを持ってはずしてください。
- ・各コネクターを差し込む際、ドライバーなどの金属物で押し込まないでください。コネクターの端子間でショートするおそれがあります。
- ・コネクターは、しっかりと奥まで差し込んでください。差し込みが浅い場合、車両故障や動作不良の原因となります。
- ・重要保安部（エアバッグなど）の車両ハーネスへは固定しないでください。誤作動の原因になるおそれがあります。
- ・配線を固定する際、特に駆動部やブレーキパイプ、ホース類には固定しないでください。
- ・復元する際、ハーネスが噛み込まないようにしてください。

車両ハーネス



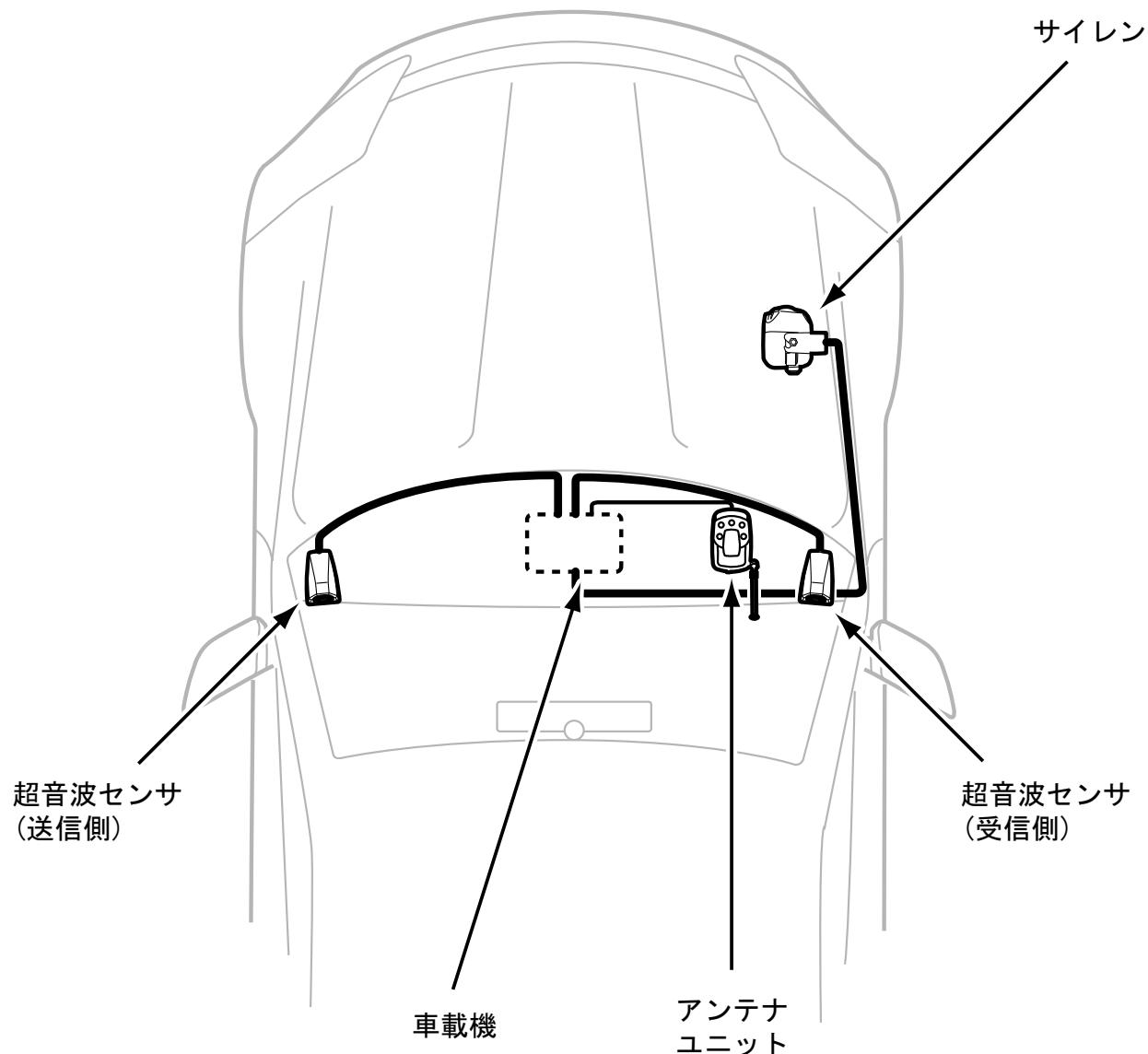
### 4. 取付けについて

- ・取りはずした車両部品は部品ごとに整理して復元するときに間違えないようにしてください。また、傷を付けたりしないよう取り扱いに注意してください。
- ・持ち運びの際、リモコンの操作ボタンが押されないように十分注意してください。
- ・本製品のサイレン音は、防犯上非常に効果的な125dBで発報するため、騒音などにならないよう、周囲の環境を考慮した上で作動確認を行ってください。
- ・本製品は電波を使用している性質上、周囲に強力な電波が発生している個所では混信を受ける可能性が全くないわけではありませんので注意してください。
- ・作動確認を行う場合、必ずエンジンを停止して換気の良い場所で行ってください。
- ・ステッカーは決められた箇所以外の窓ガラスには貼らないでください。  
(ステッカーの貼り付けは、P31の“ステッカーの貼り付け”を参照してください。)



## 取付概要

以下は車種による取付事例を示します。製品の取付け位置はあくまで参考ですので、車両およびお客様の状況によって、各センサが反応しやすい場所へ取付けを行ってください。



# 取付要領

下記概略と前ページの取付概要を元に、次ページ以降に記載した各部品の取付方法や配線方法に従ってX4500を取付けてください。

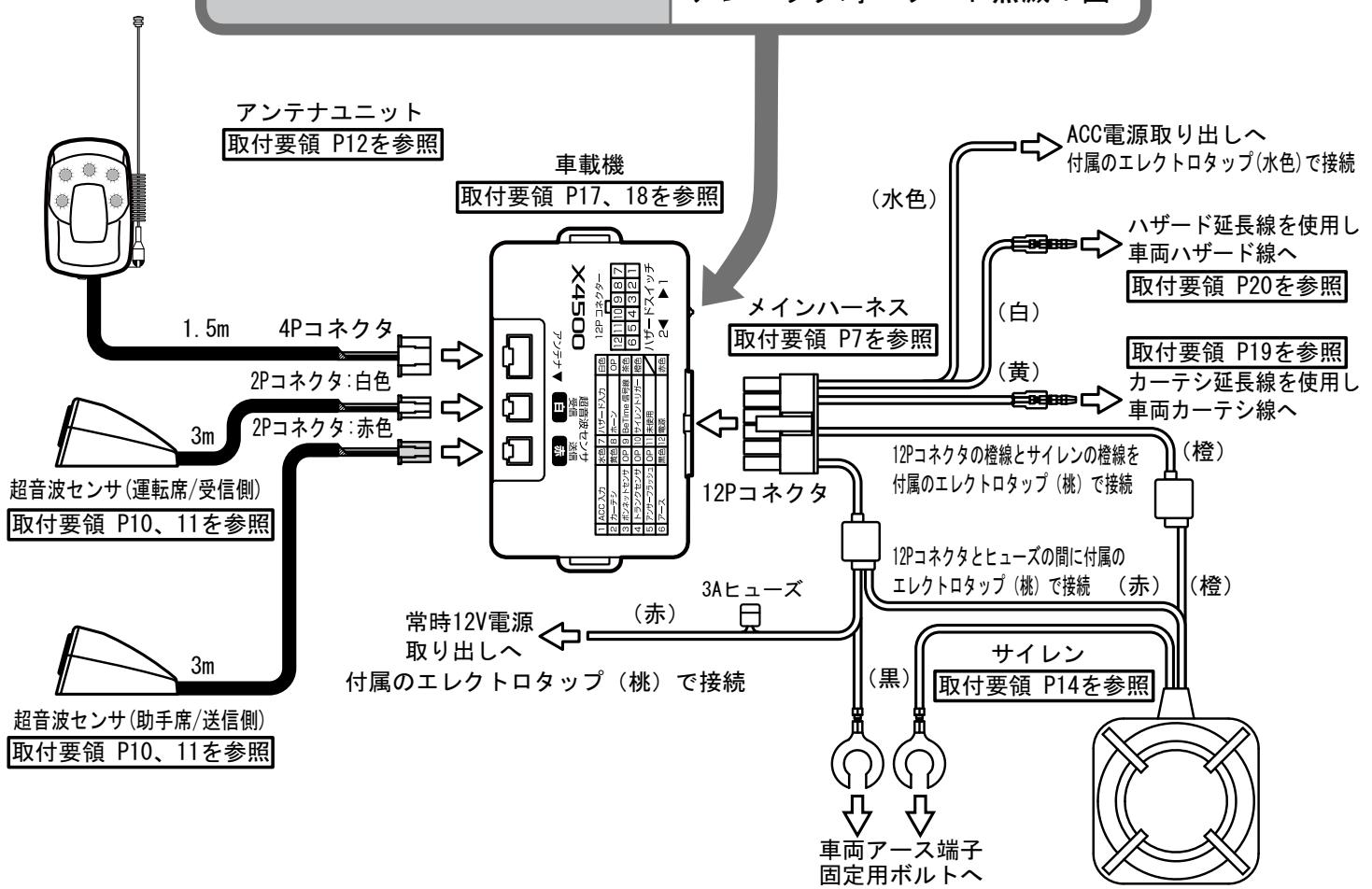
車両に合った取付位置を事前に仮決めしておくと作業が容易になります。

また、必要に応じて車両部品の取りはずしや加工が必要となります。

## アドバイス

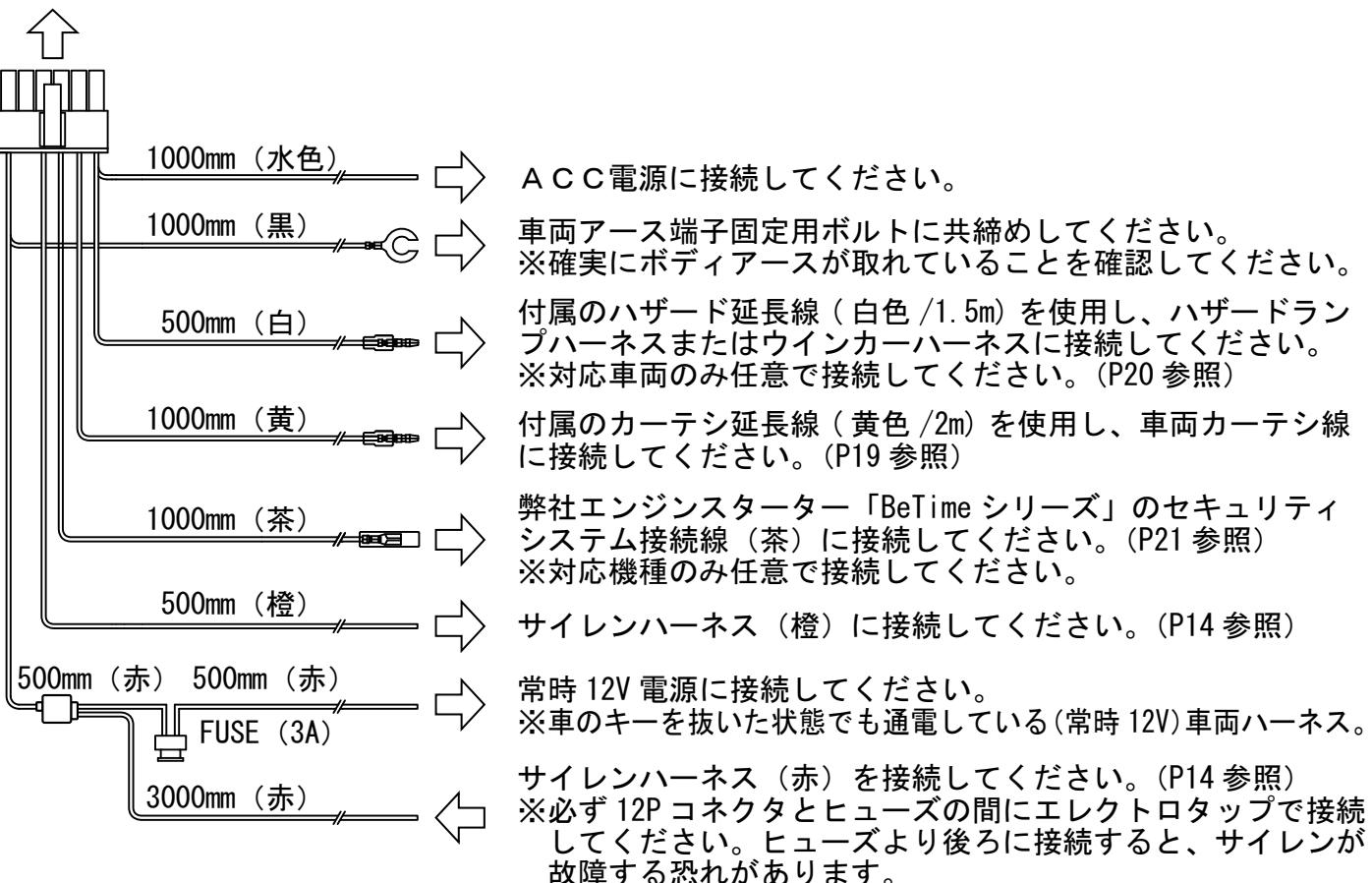
- ・仮決めしたときに、各センサーが正常に作動するか確認してください。
- ・純正キーレスリモコン連動する場合は、ハザード延長線（白線）の接続を行わなければ動作しません。
- ・本製品は、純正キーレスリモコンを操作した際にハザードが下記点滅する車両のみ純正キーレス連動可能です。
- ・本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し（キーレスを使用しないで）、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、純正キーレス連動はできません。

ハザードスイッチ設定	ハザード点滅方式
ハザードスイッチ 1（初期設定）	ロック時ハザード点滅1回 アンロック時ハザード点滅2回
ハザードスイッチ 2	ロック時ハザード点滅2回 アンロック時ハザード点滅1回

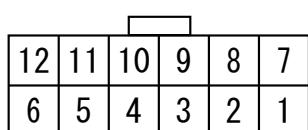


## ■ メインハーネスの接続先

車載機へ



## ■ 12P コネクタの内容



12Pコネクタの配置番号  
(配線側より)

1	ACC 入力	水色	7	ハザード入力	白色
2	カーテシ	黄色	8	ホーン	OP
3	ボンネットセンサ	OP	9	BeTime 信号線	茶色
4	トランクセンサ	OP	10	サイレントリガー	橙色
5	アンサーフラッシュ	OP	11	未使用	
6	ボディアース	黒色	12	常時電源	赤色

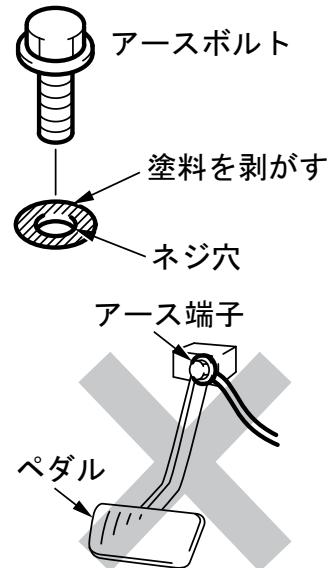
## ■ オプションの接続箇所

- Be-968 アンサーフラッシュリレー  
12P コネクタの 5 番にオプション付属の配線を差込んでください
- SS-051 カーテシ配線（複数線）  
12P コネクタから出ているカーテシ線（黄色 / 1m）に接続してください。
- SS-057 ホーンリレー  
12P コネクタの 8 番にオプション付属の配線を差込んでください
- SS-067 ボンネット / トランクセンサー  
ボンネットに使用する場合は 12P コネクタの 3 番にオプション付属の配線を差込んでください  
トランクルームに使用する場合は 12P コネクタの 4 番にオプション付属の配線を差込んでください

(1) 車両側の常時 12V 電源、ACC 電源、ハザードランプハーネス（対応車両のみ任意）、および車両アース端子固定用ボルトの位置を確認してください。

### △注意

- ・メインハーネスの長さを考慮して取付位置を決定してください。
- ・常時 12V 電源および ACC 電源の位置を確認する際、線径が 0.5sq ~ 0.85sq の線を探してください。
- ・0.5sq ~ 0.85sq の線がない場合は、半田付けで対応してください。（半田付けによる接続方法は、P9 を参照してください。）
- ・常時 12V 電源をオーディオなどと同様の部分から取り出した場合、電源容量が足りず動作しなかったり、ノイズなどの影響を受けて、製品故障の原因になりますので注意してください。
- ・車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めします。
- ・アース端子は、ペダルブラケットや駆動部のボルトと共に締めしないでください。
- ・アース端子の接続が不完全であると、動作不良の原因となるため、アース端子の接続には十分注意してください。
- ・オーディオやナビゲーションなどの他の電装品のアースと同じ場所にアース端子を取付けないでください。動作不良の原因となります。



(2) 接続位置を決め、メインハーネスを接続してください。

### △注意

- ・接続位置を決める際、他部品（車載機、サイレン）の取付位置と各ハーネスの長さを考慮し、接続位置を決めてください。
- ・配線を接続する際は、付属のエレクトロタップを使用して接続してください。（エレクトロタップを使った接続方法は、P9 を参照してください。）
- ・共締めの締め付けが不十分だと接触不良などにより正常に作動しなくなることがありますので注意してください。

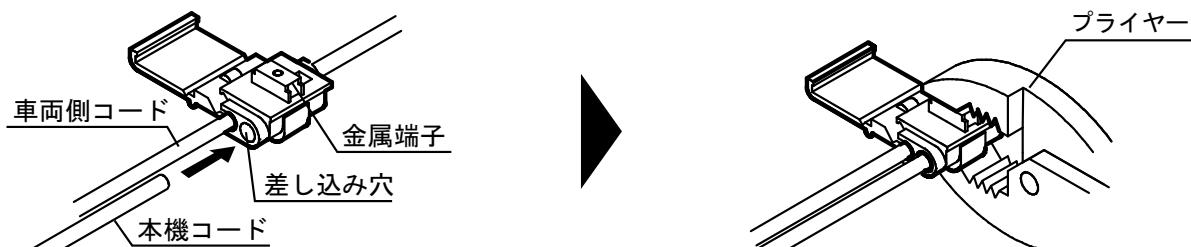
(3) メインハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

### △注意

- ・メインハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項** に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

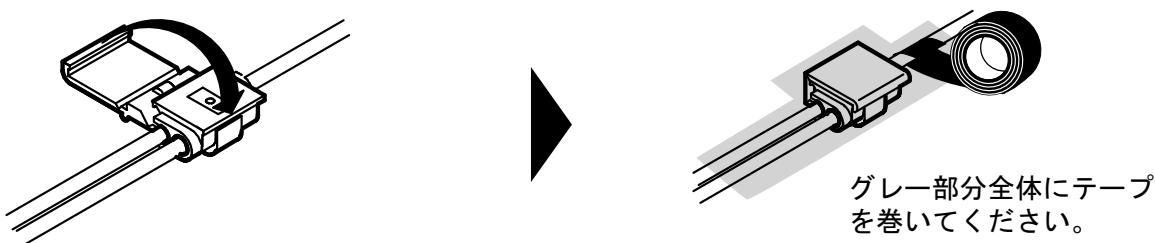
## ■エレクトロタップを使った接続方法

- 1) 接続する相手側のハーネスを確実に差し込み穴へ挿入してください。
- 2) プライヤーで金属端子を完全に押し込みます。



- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

- 4) 絶縁テープを巻いて作業終了です。

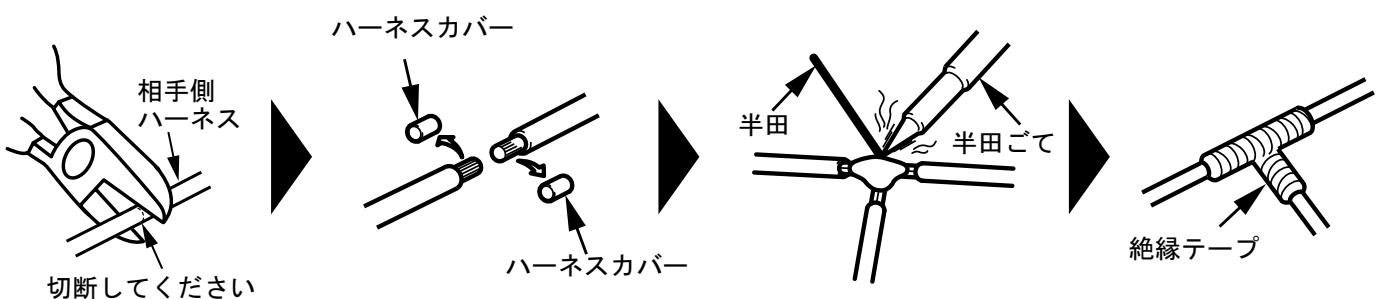


### △注意

- 付属のエレクトロタップは 0.5sq ~ 0.85sq 用ですので、それ以外の線径は接続できません。
- 0.5sq ~ 0.85sq の線径がない場合は、半田付けで対応してください。

## ■半田付けによる接続方法

- 1) 接続する相手側のハーネスを切断してください。
- 2) 切断部のハーネスカバーを取りはずしてください。
- 3) 接続する線を巻き付けた後、半田付けしてください。
- 4) 接続部に絶縁テープを巻いてください。

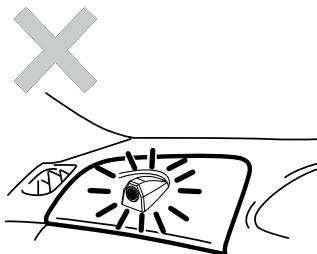


## 超音波センサユニットの取付要領

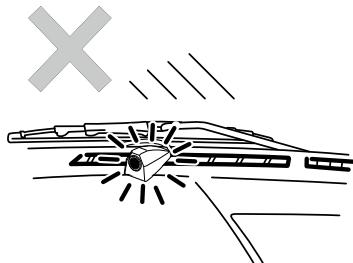
(1) 車両に取付ける超音波センサの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。  
※送信側を助手席へ、受信側を運転席側へ必ず取付けしてください。

### 取付条件

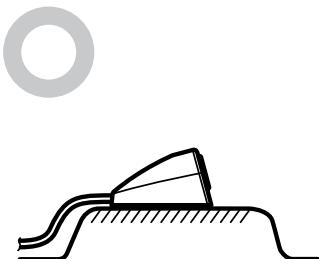
■エアバッグ  
作動領域



■吹き出し口

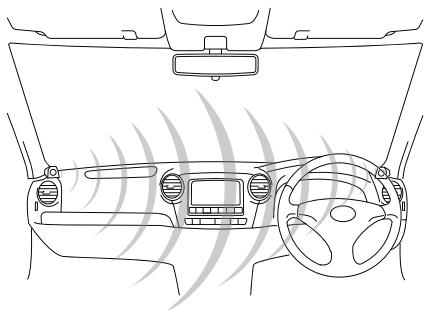


■平な面に装着

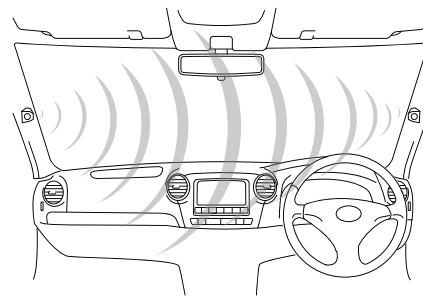


### 取付例

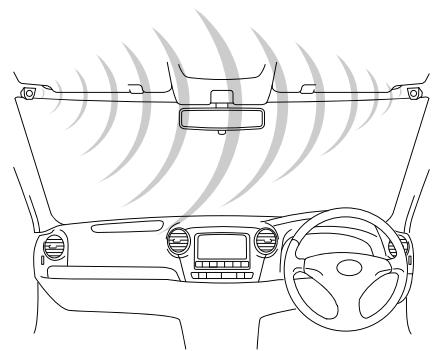
■ダッシュボード上



■フロントピラートリム上



■ルーフライニング



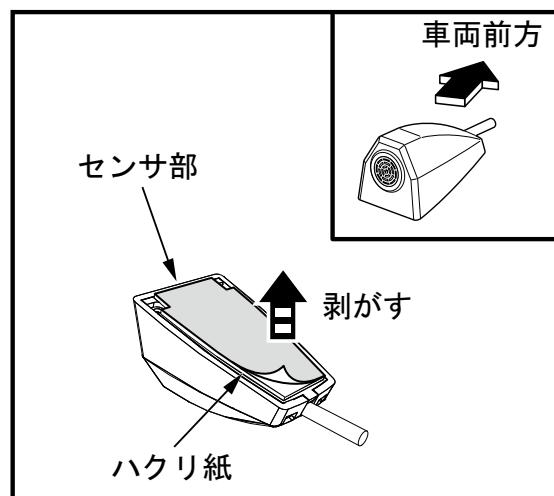
△注意

- ・外側に向けないでください。正常に作動しないことがあります。
- ・センサーの取付位置によっては反応・検知しにくい場合があります。
- ・全てのエリアに反応することはできません。

(2) 両面テープのハクリ紙を剥がし、位置決  
めした位置に貼り付けてください。

△注意

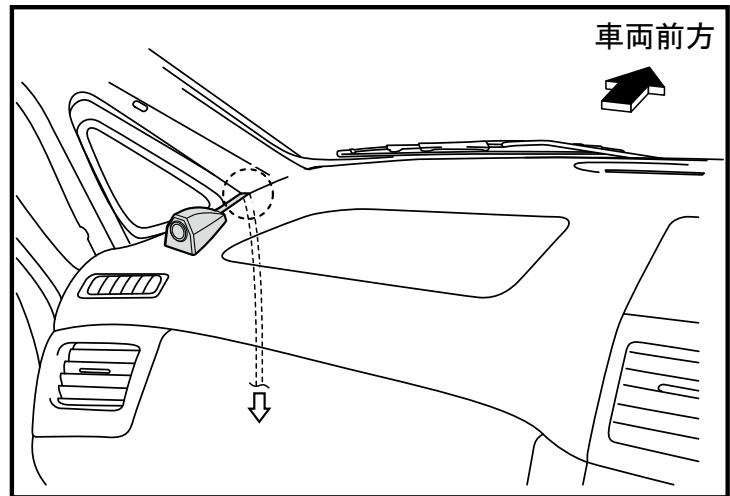
- ・センサ部貼り付け位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。
- ・超音波センサユニットハーネスの取り回すルートを意識してセンサ部の向きに注意して貼り付けてください。
- ・センサの送信側・受信側の取付位置を間違えないように取付けしてください。超音波センサの反応・検知が正常に作動しませんので注意してください。



(3) 超音波センサユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

△注意

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスティックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



(4) 超音波センサユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

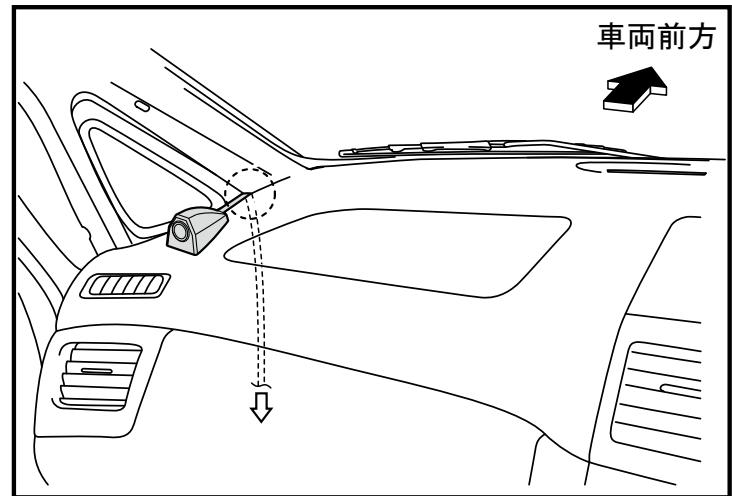
△注意

- ・超音波センサユニットハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項**に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

(3) 超音波センサユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

△注意

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスティックリムーバーなどの工具を使用して損傷しないように押し込んでください。



(4) 超音波センサユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

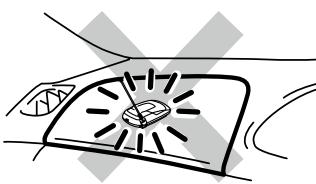
△注意

- ・超音波センサユニットハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項**に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

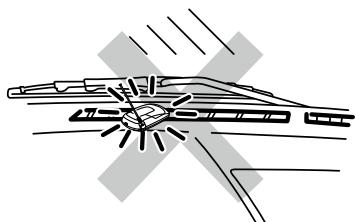
(1) 車両に取付けるアンテナユニットの位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。  
 ※アンテナユニットの取付位置によっては衝撃検知が反応しにくい場合があります。仮固定をし確認してから本固定してください。

### 取付条件

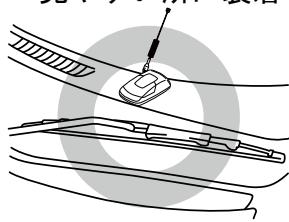
■エアバッグ  
作動領域



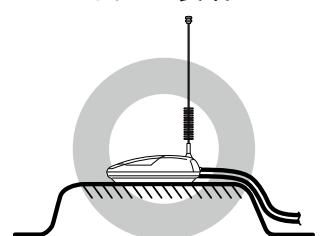
■吹き出し口



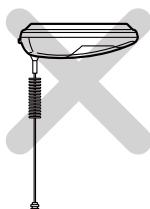
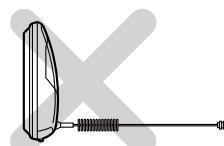
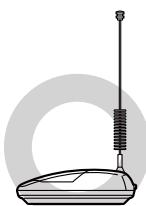
■車室外から  
見やすい所に装着



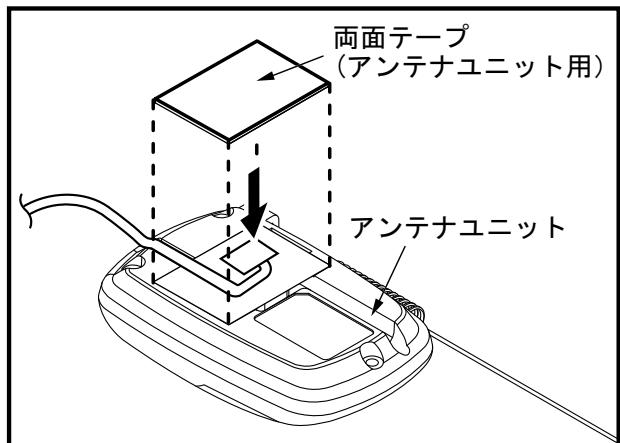
■平な面に装着



- 衝撃が検知できない場所に取付けないでください。
- アンテナユニットは正しい向きで設置してください。



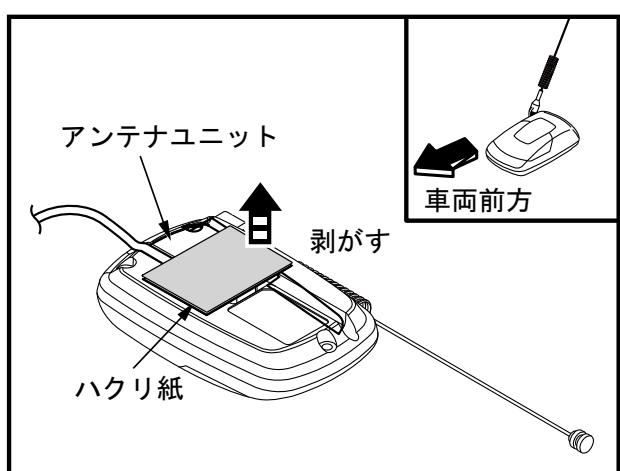
(2) 4P コネクタが外れていないことを確認し、アンテナユニットの裏側に、両面テープ（アンテナユニット用）を貼り付けてください。



(3) 両面テープ（アンテナユニット用）のハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。

△注意

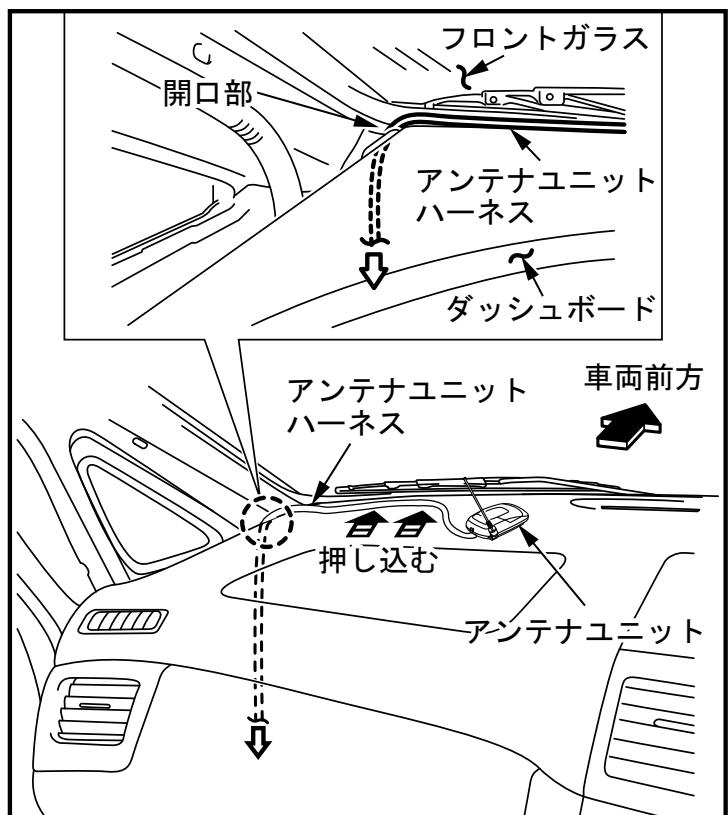
アンテナユニット貼り付け位置のゴミ、木コリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。



(4) アンテナユニットハーネスをフロントピラー下の開口部またはすき間からダッシュボード内を通してください。

△注意

フロントガラスとダッシュボードのすき間に押し込む場合は、プラスティッククリマーなどの工具を使用して損傷しないよう押し込んでください。



(5) アンテナユニットハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）で固定してください。

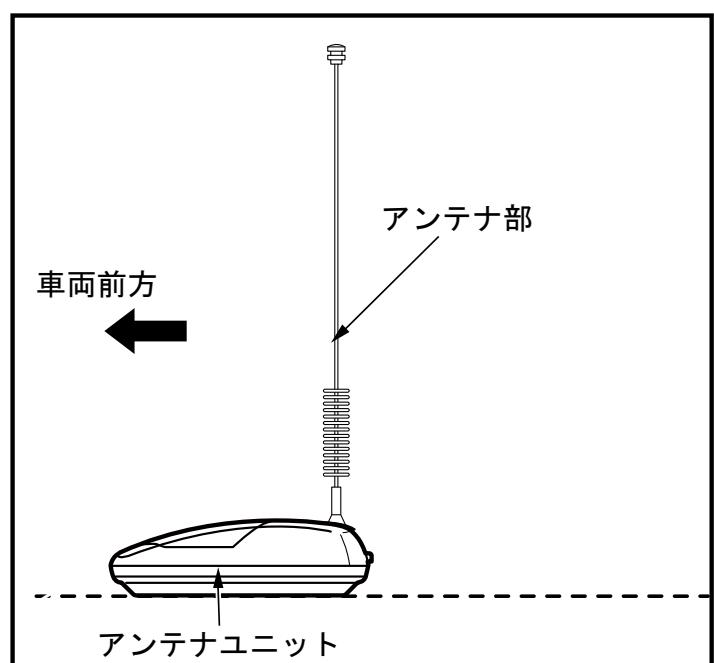
△注意

- ・アンテナユニットハーネスの取り回しまたは固定は、取付け上の注意事項に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ（100mm）の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

(6) アンテナユニットのアンテナ部を右図のように垂直に立ててください。

△注意

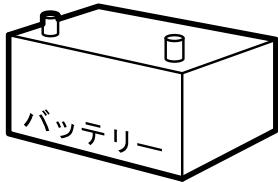
- ・アンテナの向きを調整する際、できるだけ前方でフロントガラスに接触しない位置に調整してください。
- ・アンテナ部を垂直に立てていないと、電波到達距離が短くなります。



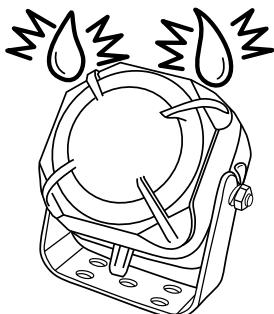
(1) 車両に取付けるサイレンの位置は、エンジンルーム内で取付条件を参考に位置決めしてください。

### 取付条件

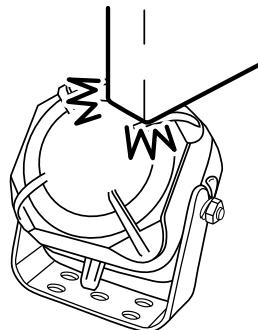
■バッテリー付近  
(熱を持ちにくい箇所)



■水がかかりにくい位置



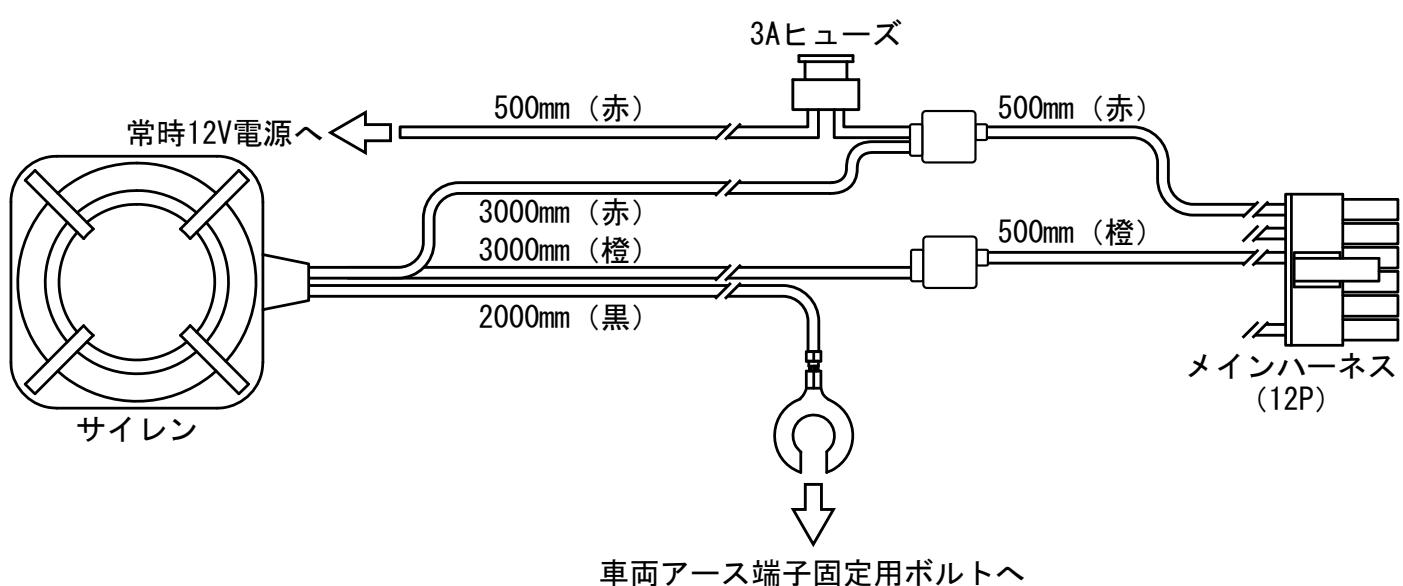
■車両部品などに干渉しない位置



### △注意

高温になる場所や水分がかかりやすい場所および可動部付近への取付けは避けてください。

(2) 車両バッテリーのアース端子固定用ボルトおよびメインハーネスの接続先の位置を確認してください。

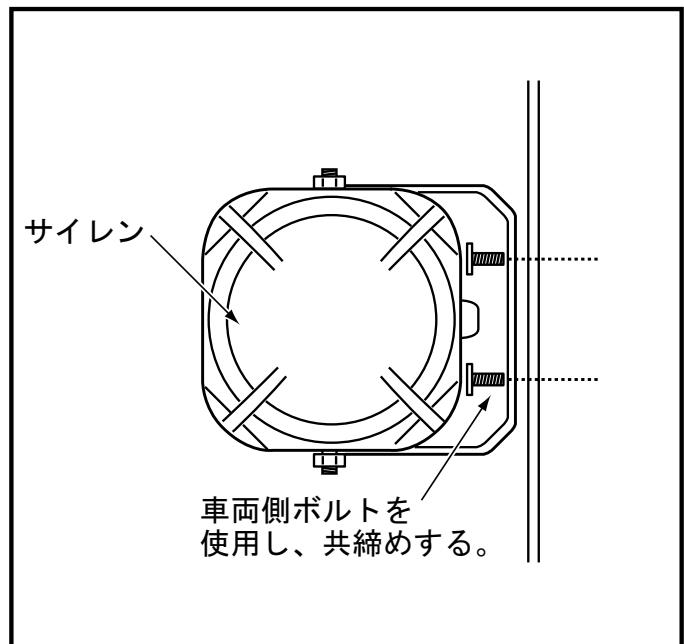


### △注意

- ・バッテリー以外の車両アース端子固定用ボルトを使用する場合、車両の金属部分を固定している塗装していないボルトに共締めしてください。
- ・アースが不完全であることが動作不良につながるケースが多いため、接続場所には十分注意してください。
- ・サイレンハーネス線（赤）は必ず 12P コネクタとヒューズの間に接続してください。ヒューズより後ろに接続するとサイレンが故障する恐れがあります。
- ・アース端子をサイレン固定用ブラケットと共に締めは絶対に行わないでください。アース不良の原因となります。

(3) サイレンを車両に取付ける。

■車両側のボルトを使い、共締めしてください。



1) サイレン取付位置を位置決めしてください。

△注意

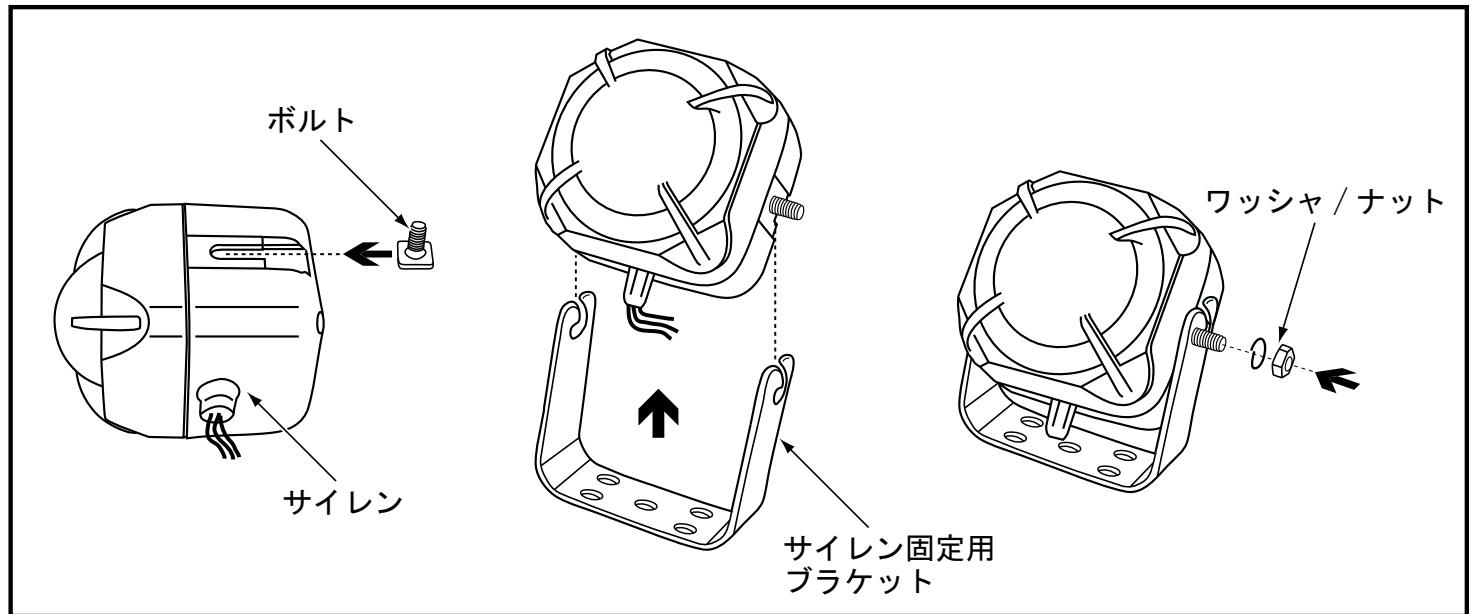
- ・サイレン取付けスペースがあることを確認してください。
- ・サイレン取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

2) サイレン固定用ブラケットをボルトおよびナットで既設穴(1～2個所)に取付けてください。

△注意

サイレンハーネスの取り回すルートを意識して、サイレンの向きに注意して取付けてください。

(3) サイレンをサイレン固定用ブラケットに、付属のボルト／ナット／ワッシャを使用し取付けてください。



△注意

- ・サイレンの取付け方向は、サイレンから出ている電線部が上を向かないようにしてください。

(4) サイレンハーネスを取り回し、ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) で固定してください。

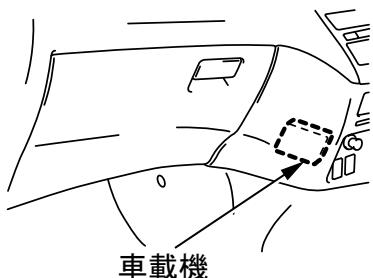
△注意

- ・サイレンハーネスの取り回しまたは固定は、**取付け上の注意事項** に記載されている内容に従って行ってください。
- ・ハーネス固定用バンドクランプ (100mm) の使用は、数量に限りがありますので注意してください。

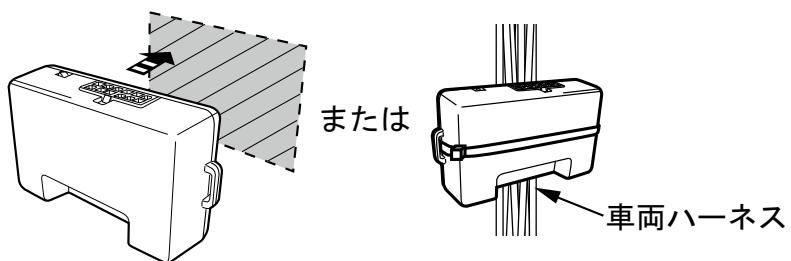
(1) 車両に取付ける車載機の位置は、取付条件を参考に位置決めしてください。

### 取付条件

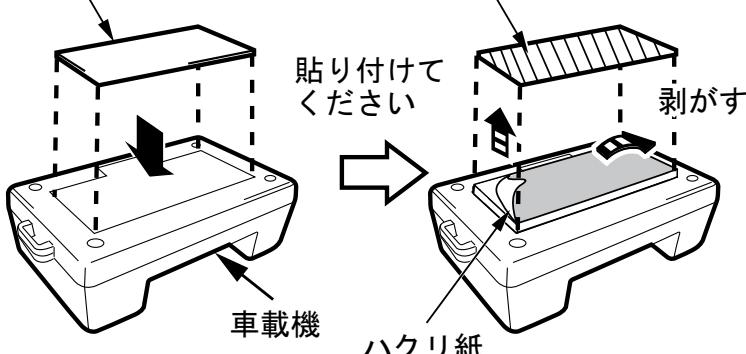
#### ■水がかからない位置



#### ■車載機を両面テープ（車載機用）または車載機固定用バンドクランプ（350mm）1本で固定可能な位置

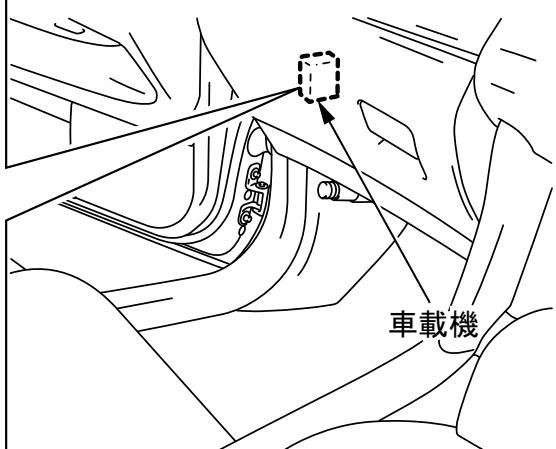


両面テープ  
(車載機用)



位置決めした位置

### 〈取付例〉



#### ■両面テープ（車載機用）で固定する場合

(1) 車載機の取付位置を位置決めしてください。

#### △注意

車載機取付け時に他車両部品に干渉しないことを確認してください。

(2) 車載機の裏面に、両面テープ（車載機用）を貼り付けてください。

#### △注意

文字が表示されている面には貼り付けないでください。

(3) 両面テープ（車載機用）のハクリ紙を剥がし、位置決めした位置に貼り付けてください。

#### △注意

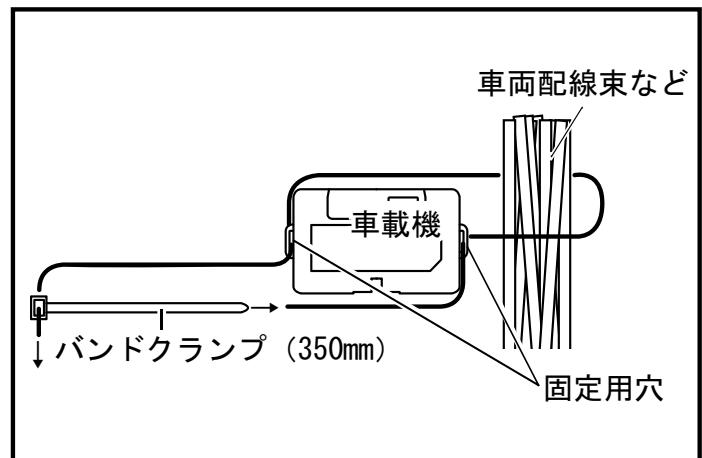
- ・車載機貼付位置のゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてから貼り付けてください。
- ・各ハーネスの取り回すルートを意識して、車載機の向きに注意して貼り付けてください。

## ■車載機固定用バンドクランプ（350mm）で固定する場合

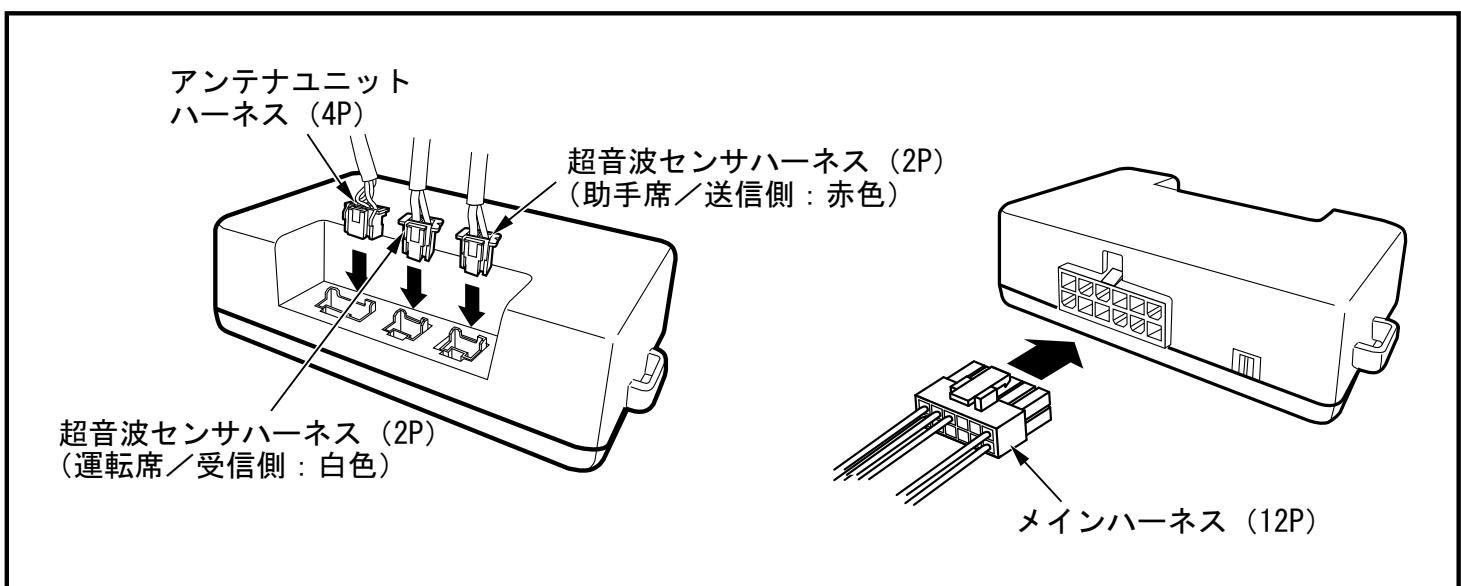
- (1) 車載機を車載機固定用バンドクランプ（350mm）で車両へ固定する。

### アドバイス

- 既設穴や車両ハーネスを利用して固定してください。
- 固定の際、右図のように固定用穴を利用し、車載機固定用バンドクランプ（350mm）を使用して固定してください。



## ■各ハーネスの車載機への接続方法



- (1) メインハーネス（12P）、アンテナユニットハーネス（4P）、超音波センサハーネス（2P）× 2（送信側：赤色、受信側：白色）を車載機へ接続してください。

### △注意

- 車載機に表示された文字の指示に従って、適切な位置へ接続してください。
- 振動で各ハーネスの接続に無理な力がかからないように、できるだけ車載機への接続部に近い位置で各ハーネスを固定してください。
- 超音波センサハーネスの助手席／送信側：赤色（2P）コネクタと運転席／受信側：白色（2P）コネクタは同形状のため、誤接続しないように注意してください。
- 誤接続の場合、動作不良やセンサーが正常に作動しませんので十分にご注意ください。

車のドアが開いたのを確認するスイッチが車側についていて、これをカーテシスイッチ（メーカーにより呼び名が違う場合があります）と言い、このスイッチに配線することにより車のドアが開いたのを検知し警報を行います。

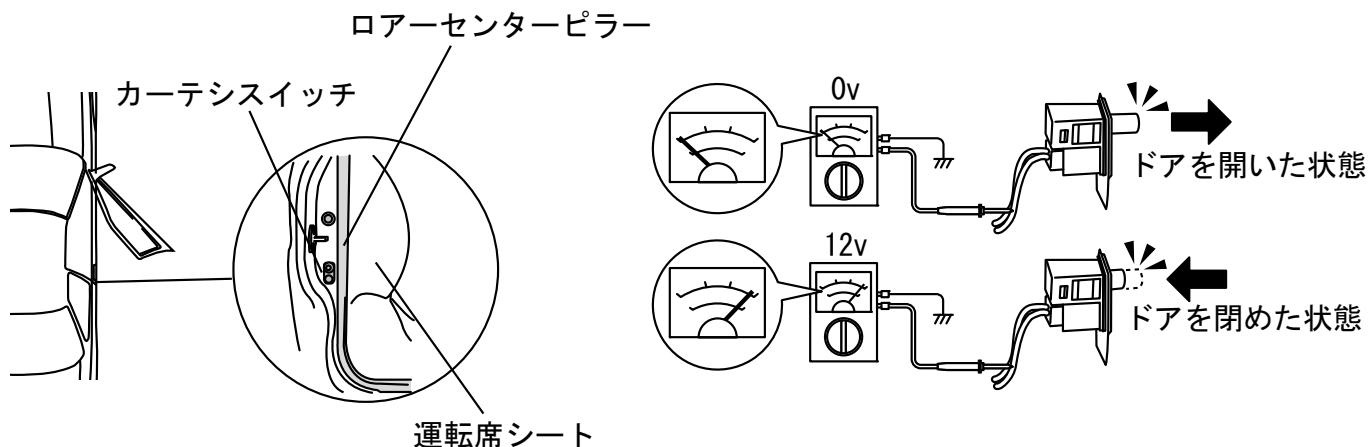
※付属のカーテシ延長線はカーテシ配線を1箇所で取れる車種専用となります。複数のドアに対してそれぞれ独立したカーテシ配線を行う必要のある車種は別売オプションSS-051「カーテシ配線（複数線）」をご使用ください。

- ・一部車種でカーテシ配線ができない車両があります。（多重通信など）
  - ・カーテシスイッチ以外にも配線ができる車両もあります。（半ドア警告灯など）
- ※キー照明にカーテシ配線すると誤作動する恐れがあります。

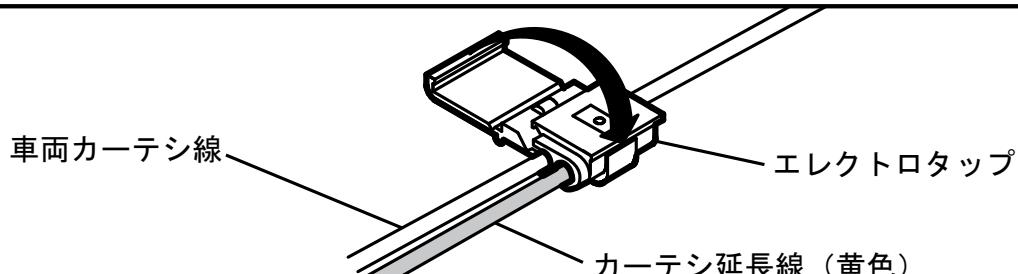
(1) 車両に取付けるカーテシ延長線（黄色）は、取付条件を参考に車両と接続してください。

### 取付条件

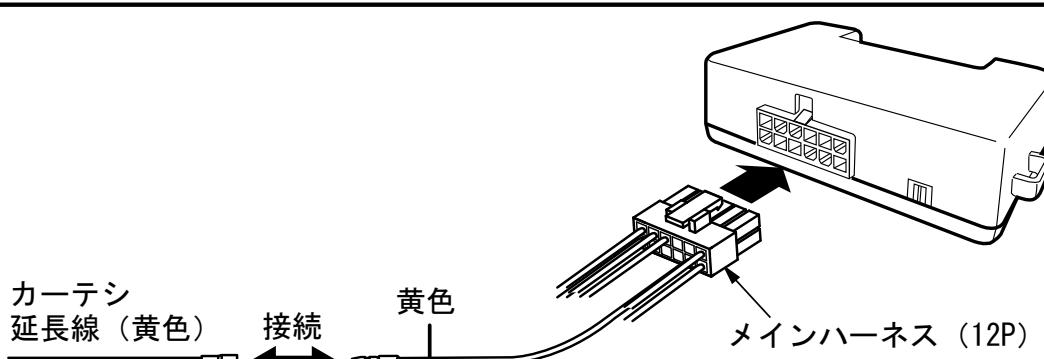
■運転席側カーテシスイッチなどのドアを開けて0V、閉めて12Vになる線



(2) カーテシ延長線（黄色）を車両のカーテシ線に付属のエレクトロタップで接続してください。



(3) カーテシ延長線（白色）をメインハーネス（12P）から出ている黄色線に接続してください。

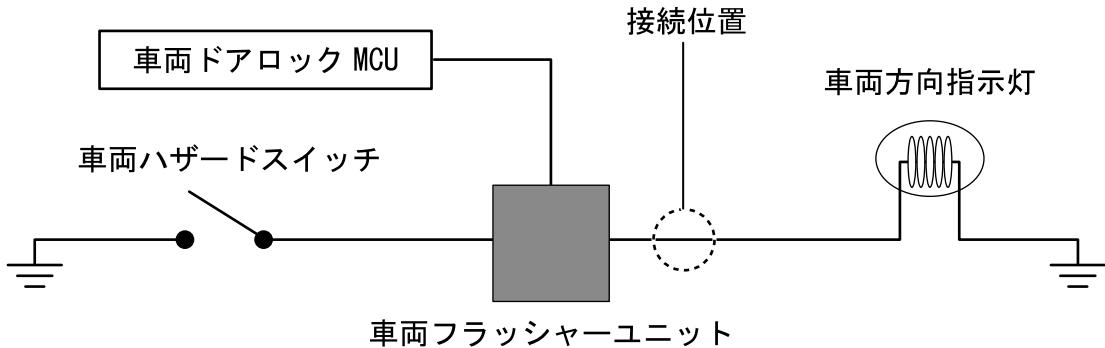


## ハザード延長線の取付要領（任意接続）

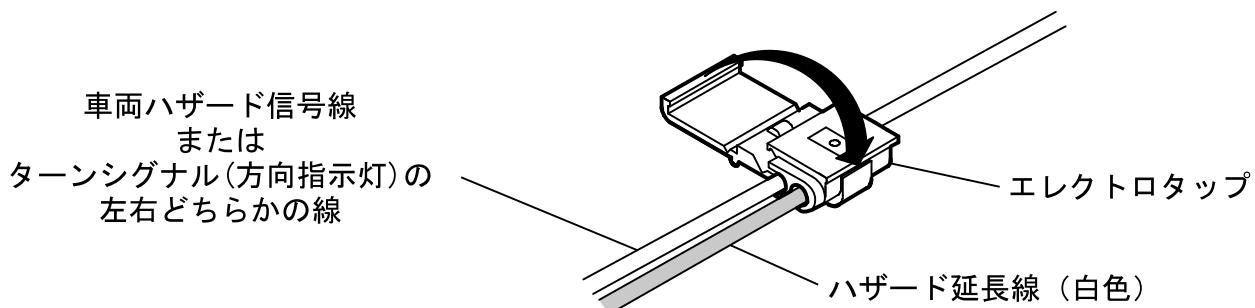
(1) 車両に取付けるハザード延長線（白色 / 1.5m）は、取付条件を参考に車両と接続してください。

### 取付条件

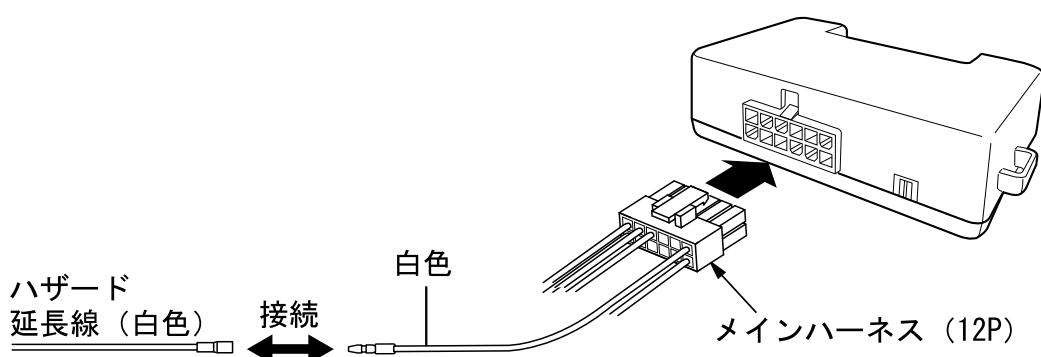
■ハザード信号線 ■ターンシグナル（方向指示灯）の左右どちらかの線



(2) ハザード延長線（白色）を車両のハザード信号線またはターンシグナル（方向指示灯）の左右どちらかの線に付属のエレクトロタップで接続してください。



(3) ハザード延長線（白色）をメインハーネス（12P）から出ている白色線に接続してください。



### △注意

- 純正キーレスリモコンを操作した際、ハザードが「ロック時1回、アンロック時2回」または「ロック時2回、アンロック時1回」点滅する車両のみ取付け可能です。（P6 参照）
- 本製品は、純正キーを運転席側ドアの鍵穴に差し（キーレスを使用しないで）、アンロックした際にハザードが点滅する車両では、純正キーレス連動はできません。

弊社エンジンスターター＆ターボタイマー「BeTime シリーズ」でセキュリティシステム接続線（茶）のある機種を取付けている場合、BeTime 信号線を配線することにより、下記の操作が可能になります。

- ・本製品の警戒モード中にエンジンスターターによるエンジンスタート  
(エンジンアイドリング中は警戒ランプのみ点滅し、各センサは反応しません)
- ・ターボタイマー作動中に本製品(X4500)のリモコンおよびエンジンスターターのリモコンによる警戒モードのセット

エンジンスターター・ターボタイマー停止後は、本製品のキャンセルタイマーが作動し警戒モードに復帰します。

また弊社エンジンスターターのリモコンにてセキュリティのセット／リセット操作が可能になります。

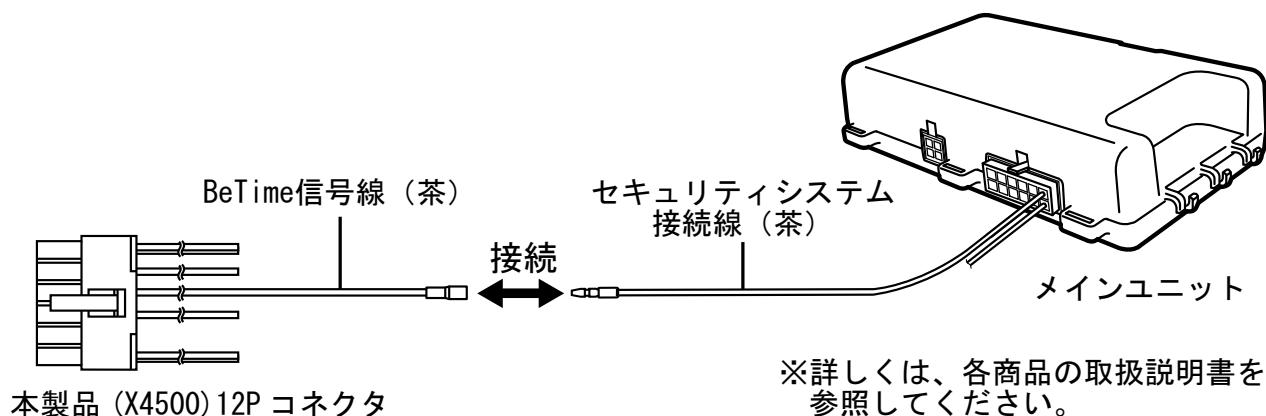
※本製品(X4500)のリモコンでエンジンスターターのスタート／ストップ操作はできません。

※本製品(X4500)のリモコンでドアロック／アンロック操作はできません。

※エンジンスターターのリモコンではセキュリティ警報のアンサーバックは受信できません。

- (1) BeTime シリーズの 12P コネクタおよび 16P コネクタ（モデルによって異なります）に差込まれたセキュリティシステム接続線（茶）と、本製品 12P コネクタの BeTime 信号線（茶）を接続します。

例：弊社エンジンスターター  
BeTime A-104 の場合



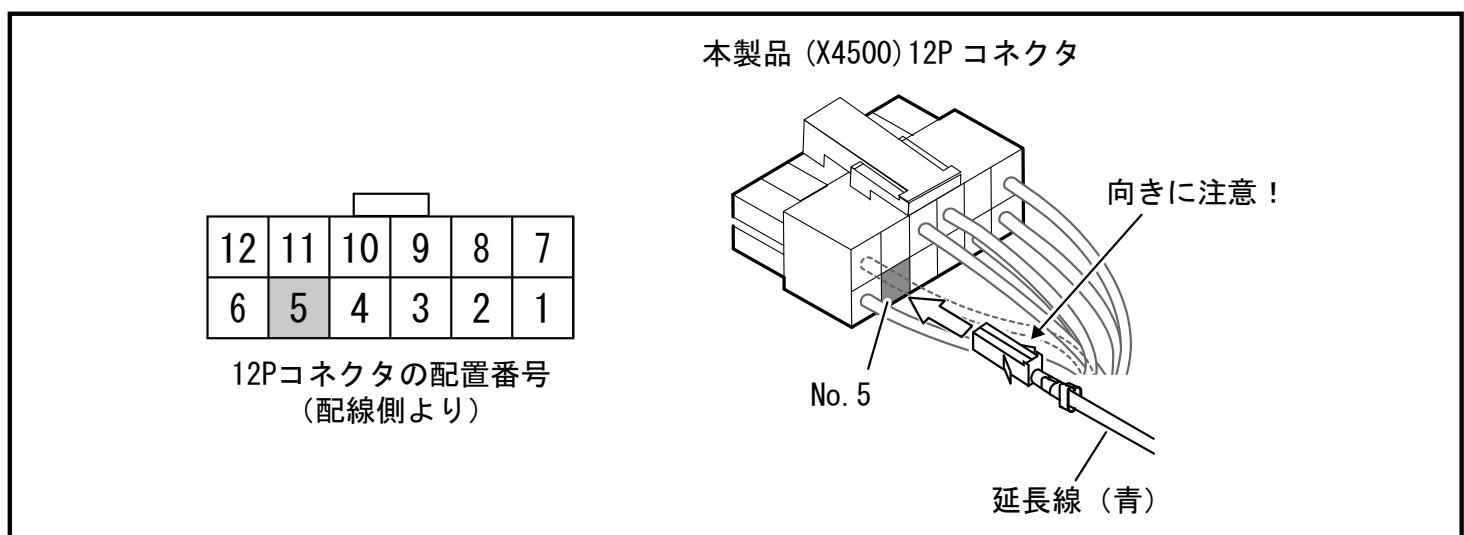
### △注意

- ・ターボタイマー作動中に純正キーレス運動操作による警戒モードのセットはできません。  
ターボタイマーと併用する場合は、本製品(X4500)のリモコン、またはエンジンスターターのリモコンで本製品のセット／リセットを行ってください。

## 別売オプションの取付要領（任意接続）

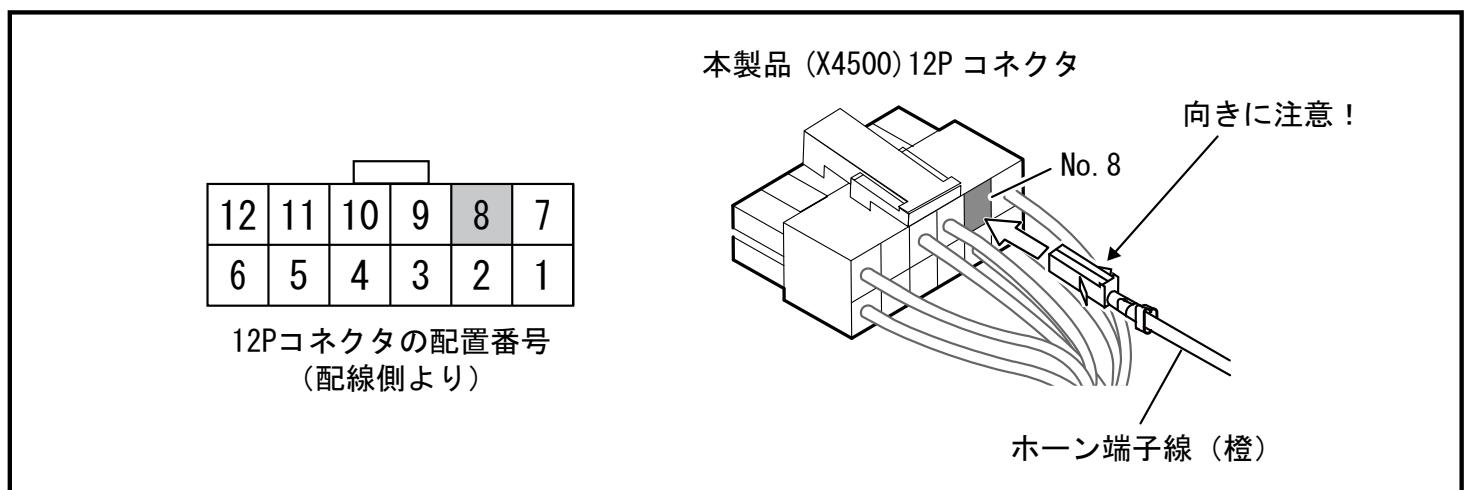
本製品に別売オプション Be-968 「アンサーフラッシュリレー」および SS-057 「ホーンリレー」を接続するときは以下の点に注意し、接続してください。

- (1) 本製品に別売オプション Be-968 「アンサーフラッシュリレー」を接続するときは、本製品 12P コネクタの【5番】に Be-968 付属の延長線（青）を差し込んでください。



※車両側への取付けに関しては Be-968 「アンサーフラッシュリレー」の取扱説明書を参照ください。

- (1) 本製品に別売オプション SS-057 「ホーンリレー」を接続するときは、本製品 12P コネクタの【8番】に SS-057 付属のホーン端子線（橙）を差し込んでください。



※車両側への取付けに関しては SS-057 「ホーンリレー」の取扱説明書を参照ください。

# リモコンの各部の名称と機能

リモコン表示部	名 称	機 能
セットボタン	セットボタン	警戒モードの設定やリモコンの登録に使用します。
リセットボタン	リセットボタン	警戒モードの解除やリモコンの登録に使用します。
設定ボタン	設定ボタン	リモコンの登録などに使用します。
パワーボタン	パワーボタン	リモコン電源の ON/OFF に使用します。
SOS ボタン	SOS ボタン	単発音を鳴らせたり、威嚇動作をさせるときやリモコンの登録などに使用します。

## ■リモコンの表示と機能

表 示	名 称	機 能
	ドア開表示	ドア開放を検知したときに点滅します。
	衝撃表示	3軸性のデジタルセンサ（衝撃センサ）が、車高（Z）方向の揺れを検知したときに点滅します。
	車内侵入表示	超音波センサが、人体や物体の動きを検知したときに点滅します。
	傾斜異常表示	3軸性のデジタルセンサ（傾斜センサ）が、車幅（X）方向または車長（Y）方向の揺れを検知したときに点滅します。

## 作動確認

### △注意

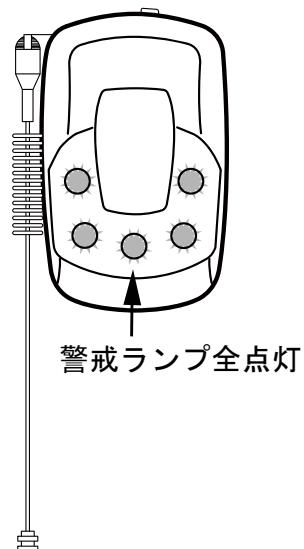
- ・輪止めなどにより、車両が動かないようにしてください。
- ・エンジン停止中に長時間作動させると、バッテリー上がりになるおそれがありますので注意してください。
- ・動作確認時は周囲の迷惑にならないよう、サイレンの音には十分に注意してください。

■以下の（1）～（3）の作業を行って、作動が確認できる状態にしてください。

（1）バッテリーの（-）端子を接続してください。  
→警戒ランプが30秒間全点灯します。

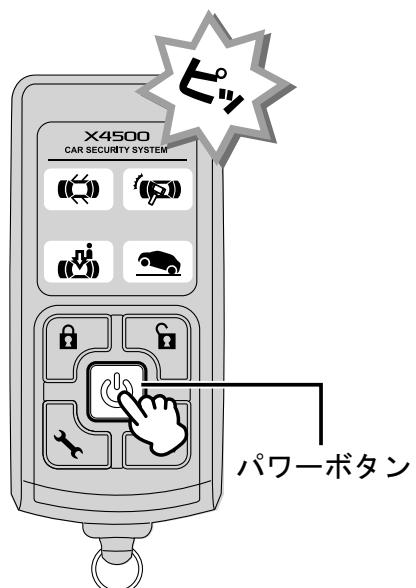
### △注意

30秒間は、すべての操作はできません。



（2）30秒後に警戒ランプが全消灯したら作動可能となります。

（3）リモコンの絶縁シートを抜いた後、パワーボタンを「ピッ」と音が鳴るまで長押しして電源を入れてください。電源が入ると、LEDが全点灯して消えます。



■以下の1. ~ 8.項目を手順に従って正常に作動することを確認してください。

1 警戒モード設定確認（リモコン使用時）

リモコンのセットボタンを1秒間押してください。



リモコンから「ピッ」とボタン操作音がします。



サイレンが「ピッ」と1回鳴ります。



リモコンから「ピピッ」と音がします。



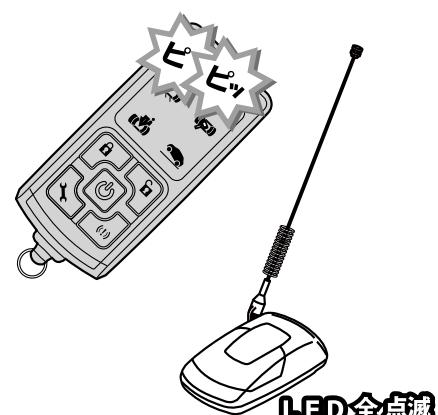
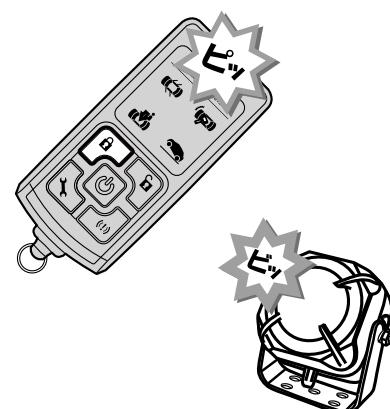
警戒ランプがゆっくり全点滅します。



約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。



警戒モード設定完了



2 警戒モード解除確認（リモコン使用時）

リモコンのリセットボタンを1秒間押してください。



リモコンから「ピッ」とボタン操作音がします。



サイレンが「ビビッ」と2回鳴ります。



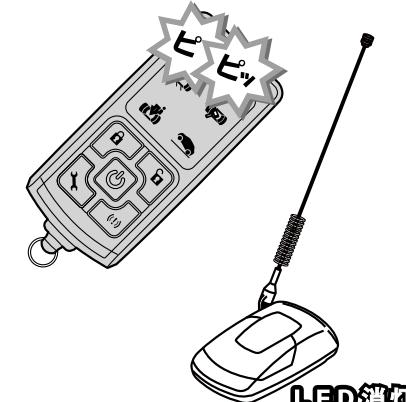
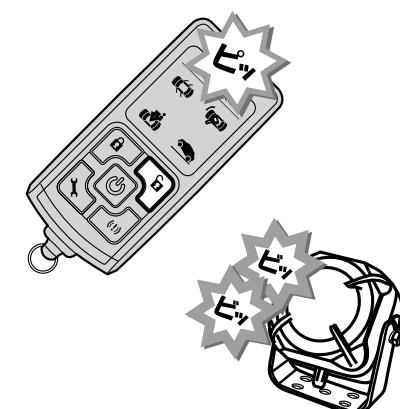
リモコンから「ピピッ」と音がします。



警戒ランプが消灯します。



警戒モード解除完了



3

## 警戒モード設定確認（純正キーレス連動時）

※ハザードランプハーネスまたは  
ワインカーハーネス接続時のみ対応

車両純正キーレスでドアロックしてください。



ハザードランプが1回（または2回）点滅します。



サイレンが「ビッ」と1回鳴ります。



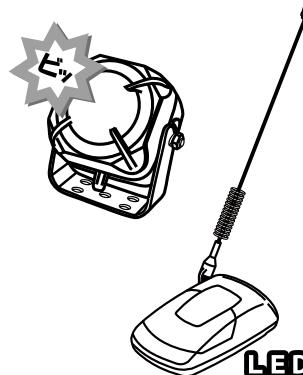
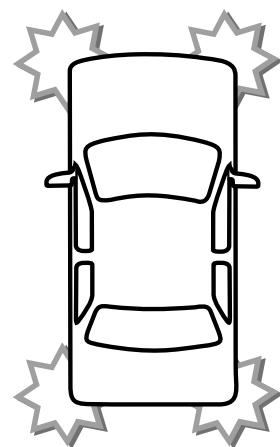
警戒ランプがゆっくり全点滅します。



約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。



警戒モード設定完了



LED全点滅

※設定できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが  
車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)

4

## 警戒モード解除確認（純正キーレス連動時）

※ハザードランプハーネスまたは  
ワインカーハーネス接続時のみ対応

車両純正キーレスでアンロックしてください。



ハザードランプが2回（または1回）点滅します。



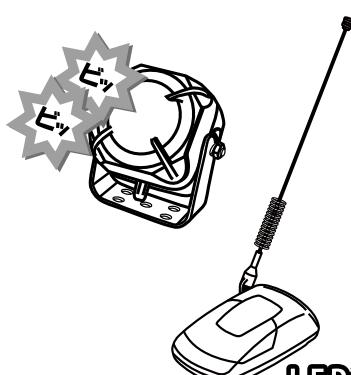
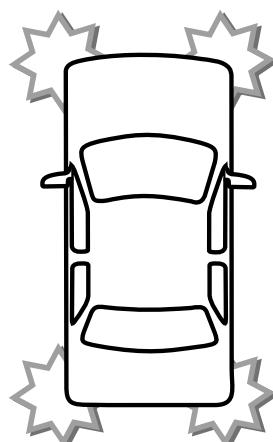
サイレンが「ビビッ」と2回鳴ります。



警戒ランプが消灯します。



警戒モード解除完了



LED消灯

※解除できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが  
車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)

3

## 警戒モード設定確認（純正キーレス連動時）

※ハザードランプハーネスまたは  
ワインカーハーネス接続時のみ対応

車両純正キーレスでドアロックしてください。



ハザードランプが1回（または2回）点滅します。



サイレンが「ビッ」と1回鳴ります。



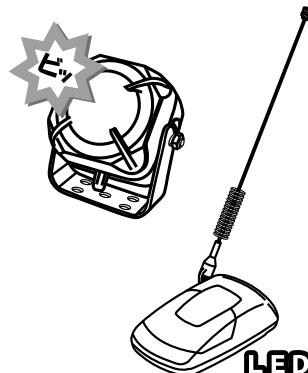
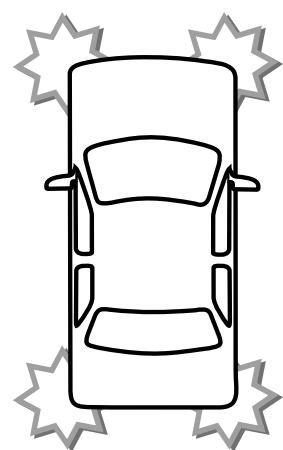
警戒ランプがゆっくり全点滅します。



約20秒後に警戒ランプの点滅パターンが切り替わります。



警戒モード設定完了



LED全点滅

※設定できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが  
車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)

4

## 警戒モード解除確認（純正キーレス連動時）

※ハザードランプハーネスまたは  
ワインカーハーネス接続時のみ対応

車両純正キーレスでアンロックしてください。



ハザードランプが2回（または1回）点滅します。



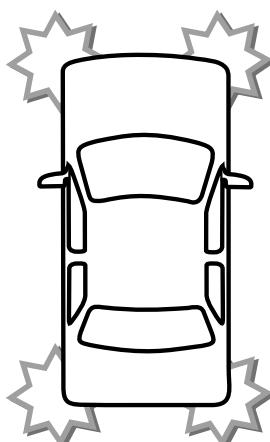
サイレンが「ビビッ」と2回鳴ります。



警戒ランプが消灯します。



警戒モード解除完了



LED消灯

※解除できない場合は、車載機のハザード切替スイッチが  
車両に合った設定になっているか確認してください。(P6参照)

## (1) 単発音機能

リモコンの SOS ボタンを 1 秒間長押ししてください。



リモコンから「ピッ」とボタン操作音がしたら SOS ボタンを離してください。



- ・サイレンが「ピッ」と 1 回鳴ります。
- ・警報ランプが 1 回全点滅します。



## (2) 緊急 SOS 機能

リモコンの SOS ボタンを 3 秒以上押してください。



リモコンから「ピピー」とボタン操作音がします。



約 30 秒間サイレンが鳴り、警戒ランプが全点滅し続けます。



## (3) 緊急 SOS 機能の停止

もう一度 SOS ボタンを 1 秒間長押しして離すか、3 秒以上押してください。



3 秒以上長押しにて、リモコンから「ピピー」とボタン操作音がします。



1 秒間長押しにて、リモコンから「ピッ」とボタン操作音がします。



警報動作が停止されます。

## アドバイス

IG キーを ACC にすることにより警報作動が停止できます。

## (1) 警報動作の停止

リモコンのリセットボタンを1秒間長押ししてください。



リモコンの「ピピッ」という音とともに各異常表示アイコンが消灯します。


**アドバイス**

SOSボタンを1秒間長押しして離すか、3秒以上押すと、サイレンと警戒ランプのみ停止となり再度警戒設定となります。

## (2) 衝撃検知

警戒モードに設定してください。



車体（ガラス）に衝撃を加えてください。

**〈軽度衝撃〉**

- ・サイレンが1回「ビーッ」と鳴ります。
- ・警戒ランプが1回全点滅します。

**〈重度衝撃〉**

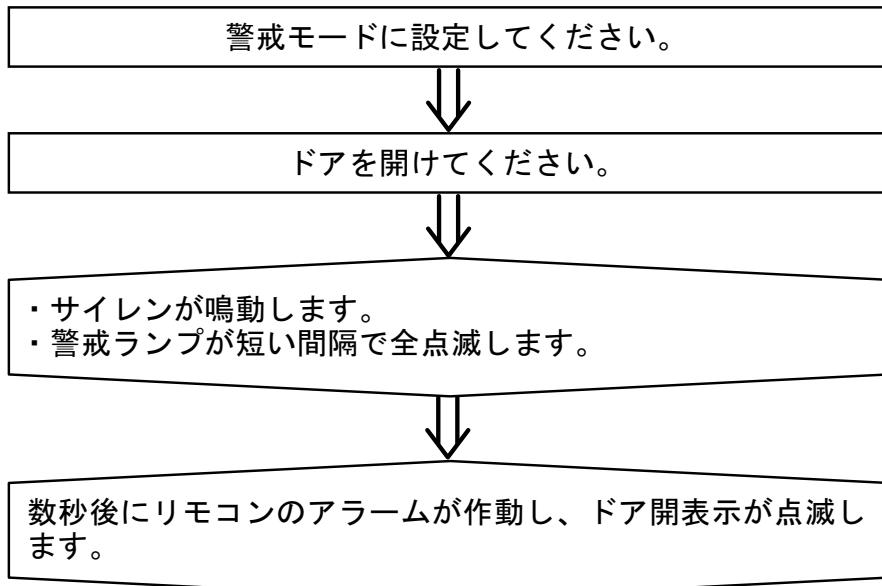
- ・サイレンが鳴動します。
- ・警戒ランプが短い間隔で全点滅します。
- ・数秒後にリモコンのアラームが作動し、衝撃表示が点滅します。



※重度衝撃は、ガラスが破損するレベルで反応します。

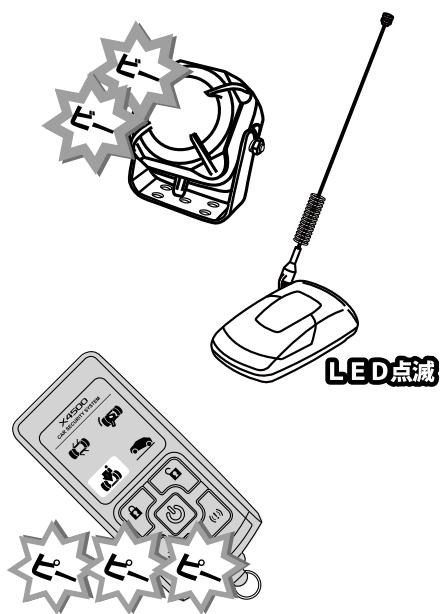
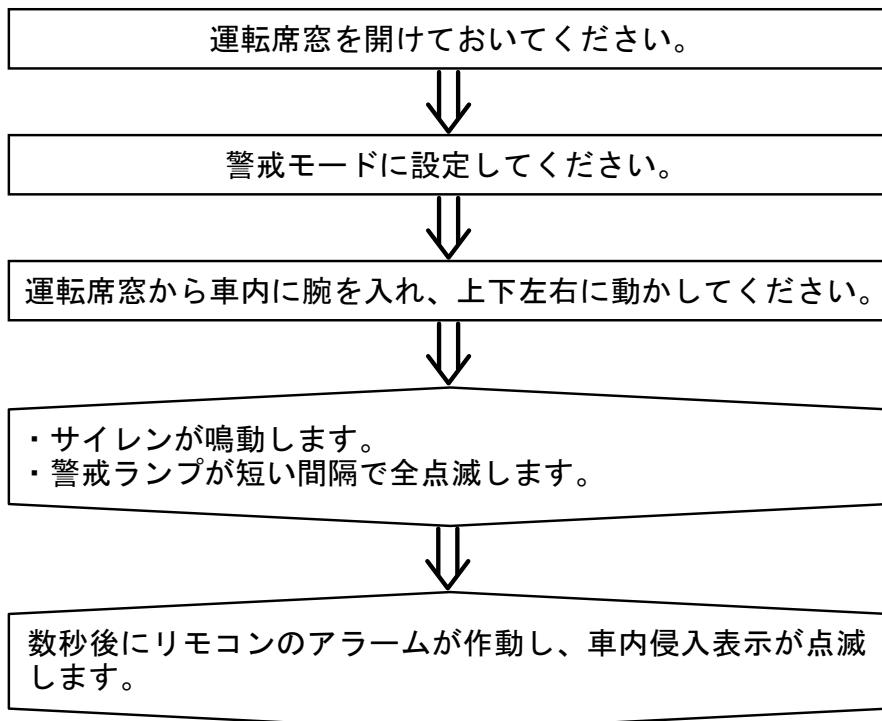
※衝撃の反応レベルが悪い場合は、アンテナユニットの取付位置を変更していただき、車両にあった位置に調整してください

### (3) ドア開検知（必ずドアカーテシ線の接続を行ってください）



※複数のドアに独立したカーテシ線がある場合は別売オプション SS-051「カーテシ配線（複数線）」をご使用ください。

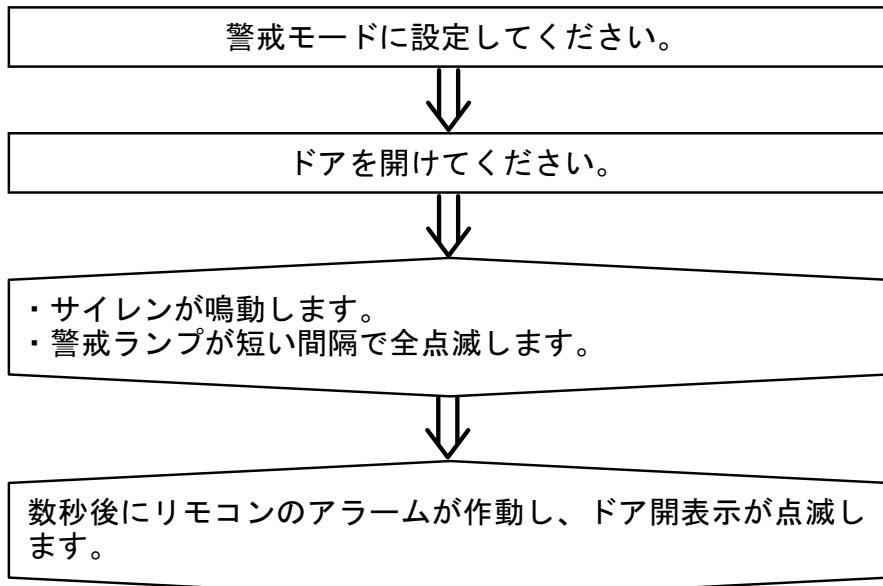
### (4) 車内侵入検知



#### アドバイス

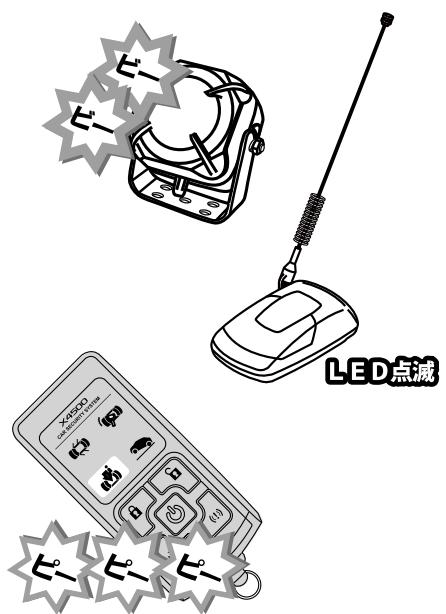
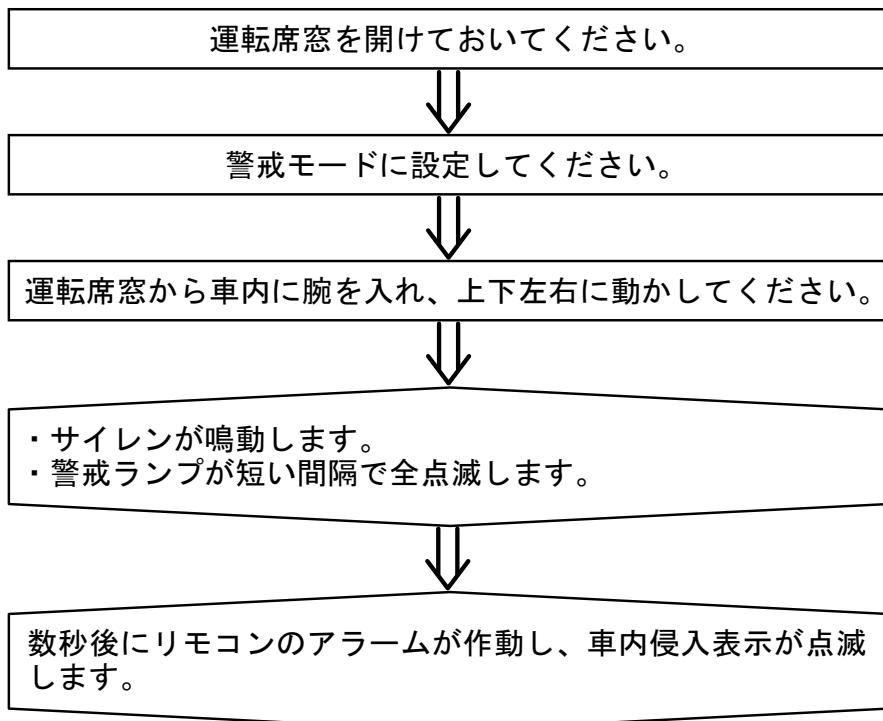
車内に腕を入れただけでは反応しないことがあります。動きを感じて反応しますので注意してください。

### (3) ドア開検知（必ずドアカーテシ線の接続を行ってください）



※複数のドアに独立したカーテシ線がある場合は別売オプション SS-051「カーテシ配線（複数線）」をご使用ください。

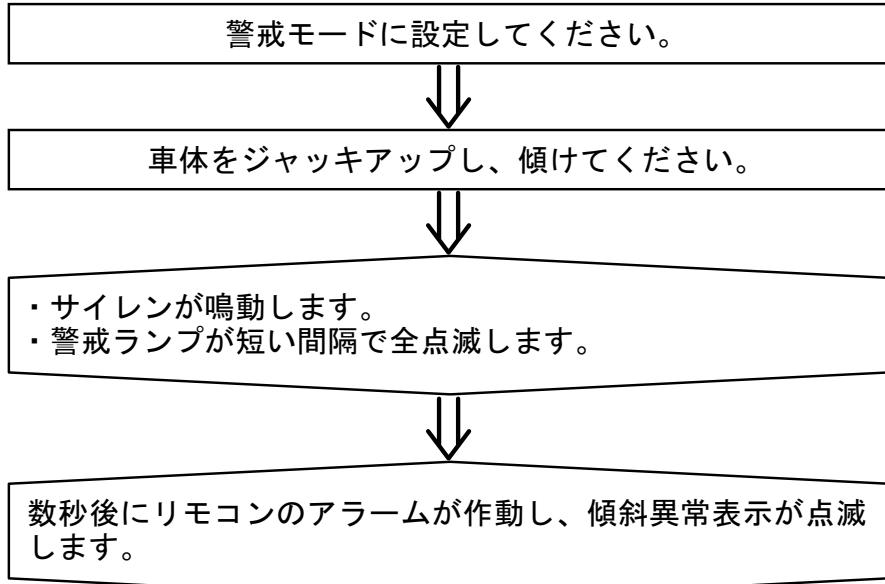
### (4) 車内侵入検知



#### アドバイス

車内に腕を入れただけでは反応しないことがあります。動きを感じて反応しますので注意してください。

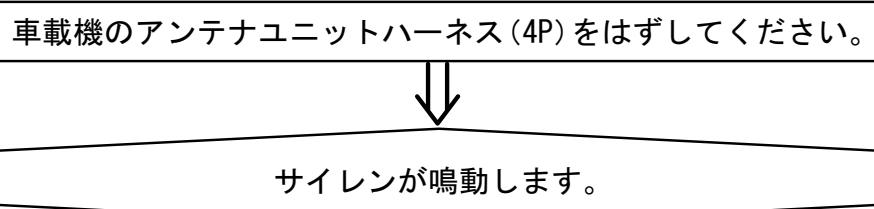
## (5) 車体傾斜検知



7

## 配線の断線検知確認

### (1) アンテナユニットハーネス (4P)



## 取付け完了後の点検

配線や取付けに異常がないか点検してください。

### △注意

- ・車両ハーネスおよびX4500の各ハーネスを無理に押したり、引っ張ったり、噛み込んだりしていないか点検してください。
- ・バンドクランプのはずれや部品の締め付け忘れないか確認してください。

## 復元作業

取りはずした部品を元通りに復元してください。

## 最終確認

- (1) 取付けに際して取りはずした部品が元通りに取付けられているか確認してください。
- (2) 車両部品の作動点検を行ってください。

## ステッカーの貼り付け

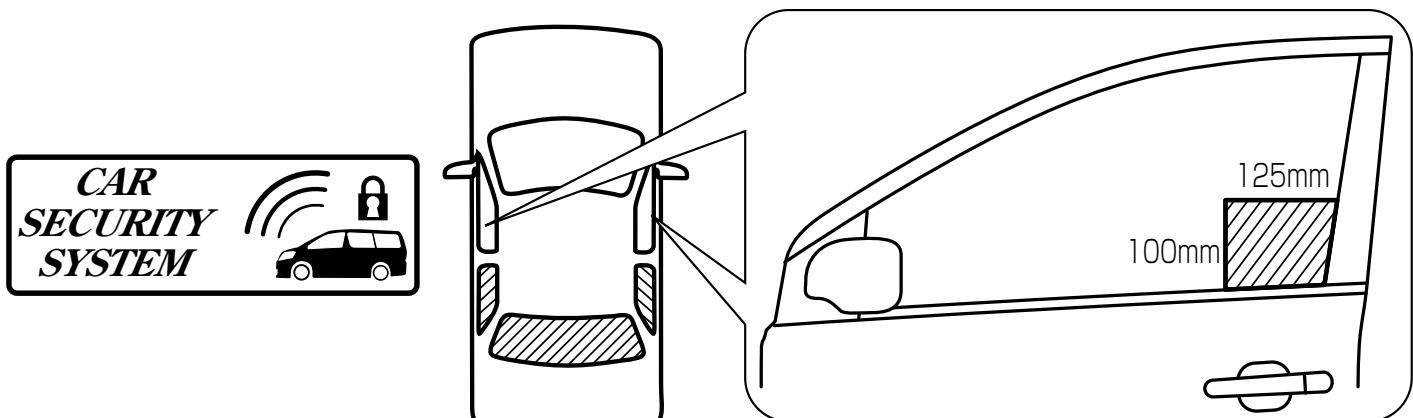
### △注意

- ・ステッカーはお客様に貼っていただくため、必ずお客様にお渡しください。
- ・お客様にステッカーをお渡しする際、以下のステッカー貼付位置に関する注意事項をお伝えください。

- (1) ステッカー貼付位置は、下図の斜線で示すウインドガラスの任意の位置に貼り付けてください。

### △注意

- ・ステッカーは、フロントガラスには貼らないでください。
- ・ステッカーを貼り付ける位置のウインドガラスのゴミ、ホコリ、油汚れなどを取り除いてください。
- ・貼付位置は、リヤワイパーを避け、向きに注意して貼り付けてください。

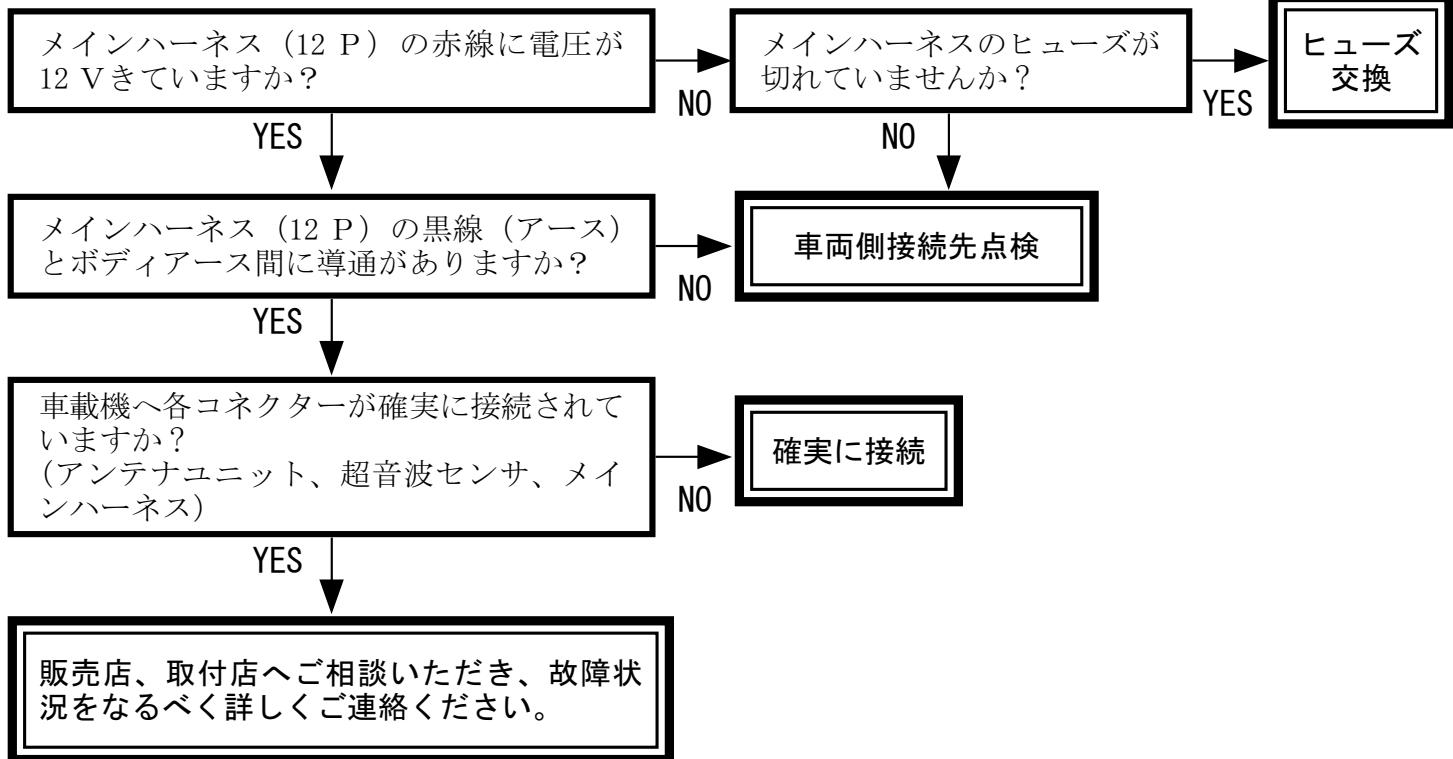


# トラブルシュート

## 症状

本製品装着後初めて電源を接続した際〔取付け時に外したバッテリーの（-）端子を接続した際〕警戒ランプが30秒間点灯しない

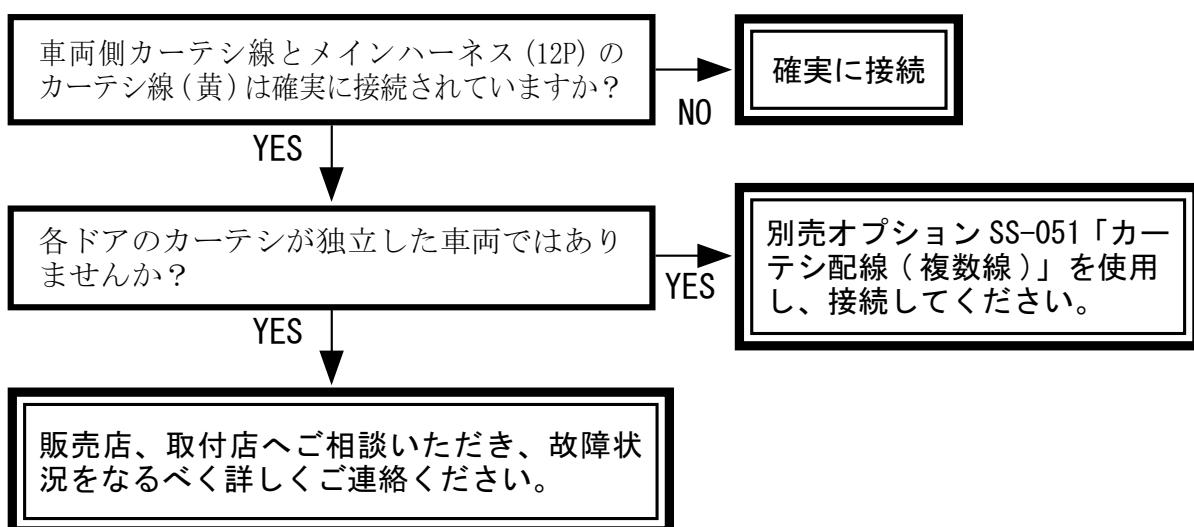
## 【確認手順】



## 症状

警戒モードにしてドアを開けてもサイレンが鳴らない

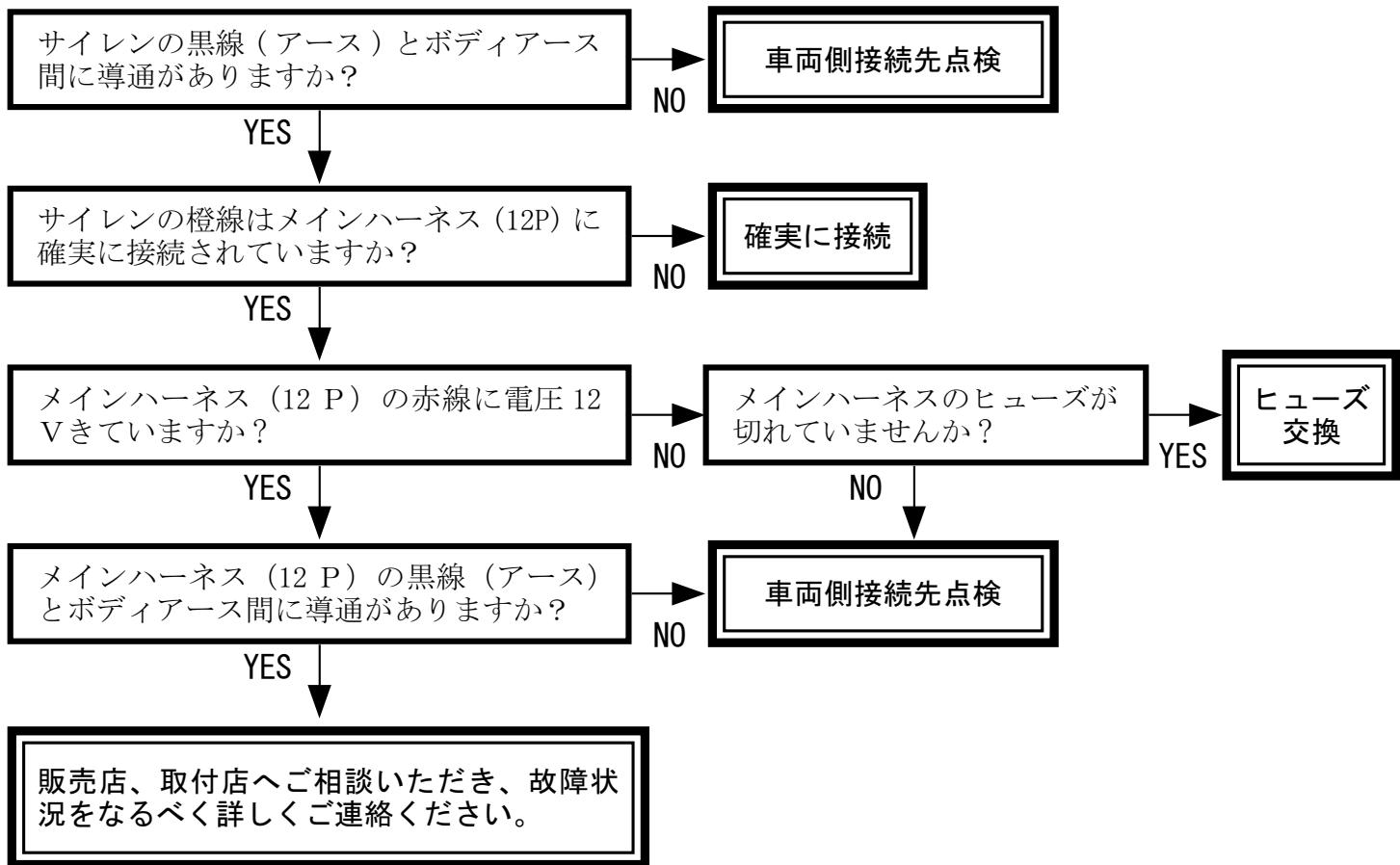
## 【確認手順】



症状

警戒モードにして動作確認した際サイレンが鳴らない

【確認手順】



症状

リモコンのパワー ボタンを長押しして電源をONにした際LED点滅表示がされない

【確認手順】

